

# 滋賀県 景況調査結果報告書

令和6年度 第3四半期  
(令和6年10～12月期)

## 目次

1. 調査概要	2
2. 全体の結果	5
3. 規模別の結果	9
4. 業種別の結果	13
5. 追加設問の結果	24

## 1. 調査概要

## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

滋賀県では、県内の景気動向の把握を目的として、四半期毎に景況調査を実施しております。今期(令和6年10～12月期)の調査結果の概要は次のとおりです。過去の景況調査結果報告書については、滋賀県公式ホームページをご覧ください。

滋賀県公式ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/syougyou/300168.html>

目的:滋賀県内の景気動向を把握するため

送付方法:郵送アンケート

回答受付方法:しがネット受付サービス、郵便、FAX、e-mail

	しがネット	FAX	郵送	Eメール	合計
回答数	441	18	5	0	464
(割合)	95.0%	3.9%	1.1%	0.0%	100.0%

調査対象企業数:滋賀県内の事業所(750社)

回答受付期間:令和6年11月1日～11月26日

## 1. 調査概要

## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

回答企業数:464社(回答率61.9%)

※大企業34社、中小企業430社(うち小規模事業者156社)

(参考) 規模・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大企業	15	2	0	5	12	34
中小企業・ 小規模事業者	152	85	31	53	109	430
合計	167	87	31	58	121	464
(業種別比率)	36.0%	18.8%	6.7%	12.5%	26.1%	100.0%

(参考) 地域・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大津地域	17	12	8	14	23	74
南部地域	41	12	4	12	24	93
甲賀地域	23	10	2	7	12	54
東近江地域	26	14	5	9	14	68
湖東地域	19	11	7	6	26	69
湖北地域	21	14	5	5	12	57
高島地域	20	14	0	5	10	49
合計	167	87	31	58	121	464

## 1. 調査概要

## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

### 【結果の概要(業況DI)】

- 【全体】 今期は▲9.7と、前期と比べて1.4ポイント悪化した。  
来期は▲13.1と、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 【規模別】 大企業では5.9とプラス幅が拡大し、中小企業(小規模事業者を含む)では▲10.9とマイナス幅が拡大した。  
来期は、大企業が▲5.9とマイナスへ転じ、中小企業は▲13.7とマイナス幅が拡大する見通しである。
- 【業種別】 前期と比べて製造業は改善し、卸売業は同水準で推移した一方、建設業、小売業、サービス業は悪化した。  
来期は、製造業、建設業はマイナス幅が拡大し、サービス業はマイナスに転じる一方、卸売業、小売業はマイナス幅が縮小するなど、業種によって見通しに違いがみられる。

※本調査でのDI(デフュージョン・インデックス):「増加(好転・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から「減少(悪化・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値である。

※今期:令和6年10~12月期、来期:令和7年1~3月期

※業況、生産、売上、経常利益、雇用の水準は昨年同時期と比較した回答、在庫数量、資金繰り、引合いは今期と来期の状況についての回答である。

1. 調査概要

2. 全体

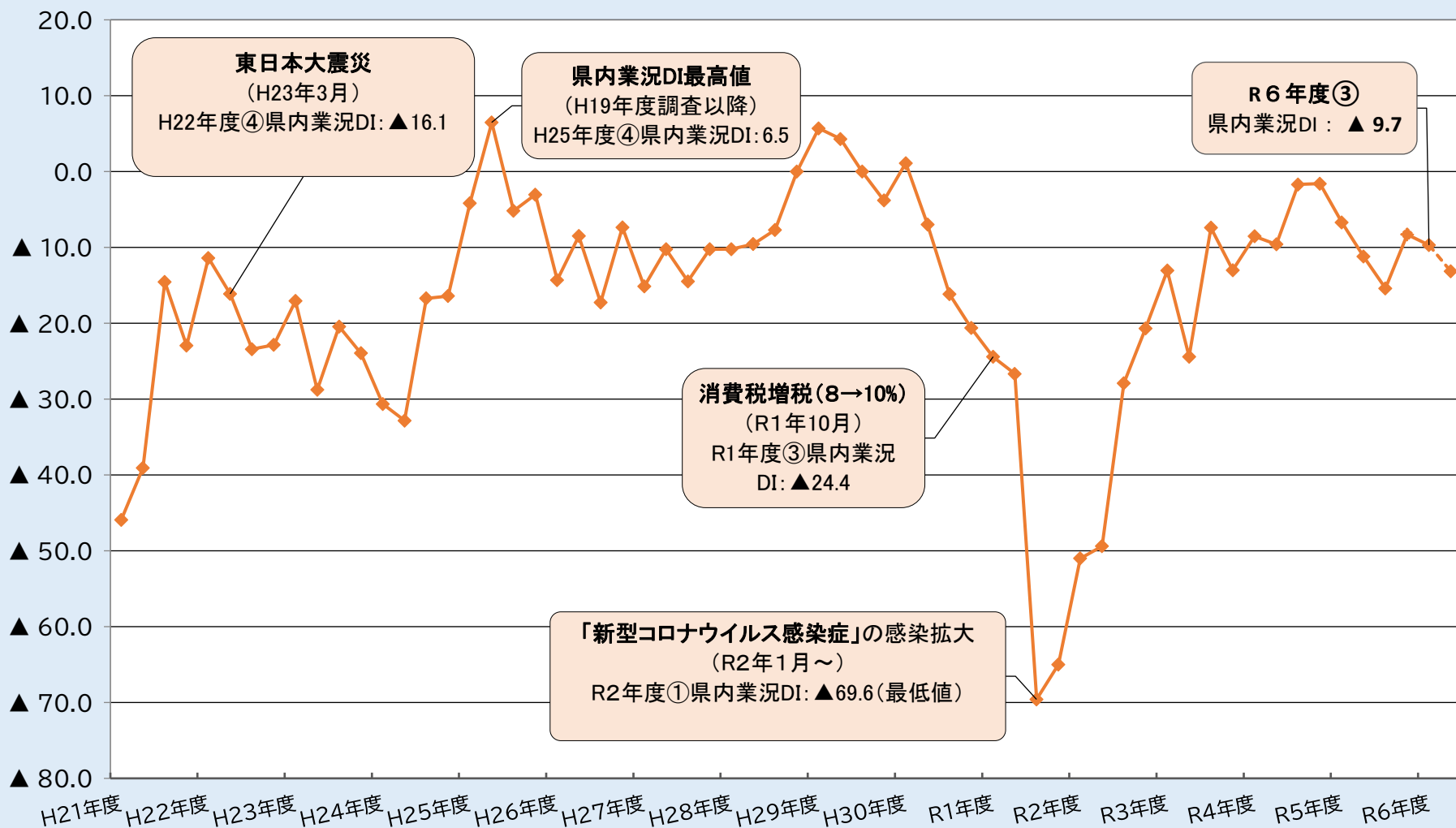
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 業況DIの推移

(平成21年度 第3四半期～令和6年度 第3四半期)



## 1. 調査概要

## 2. 全体

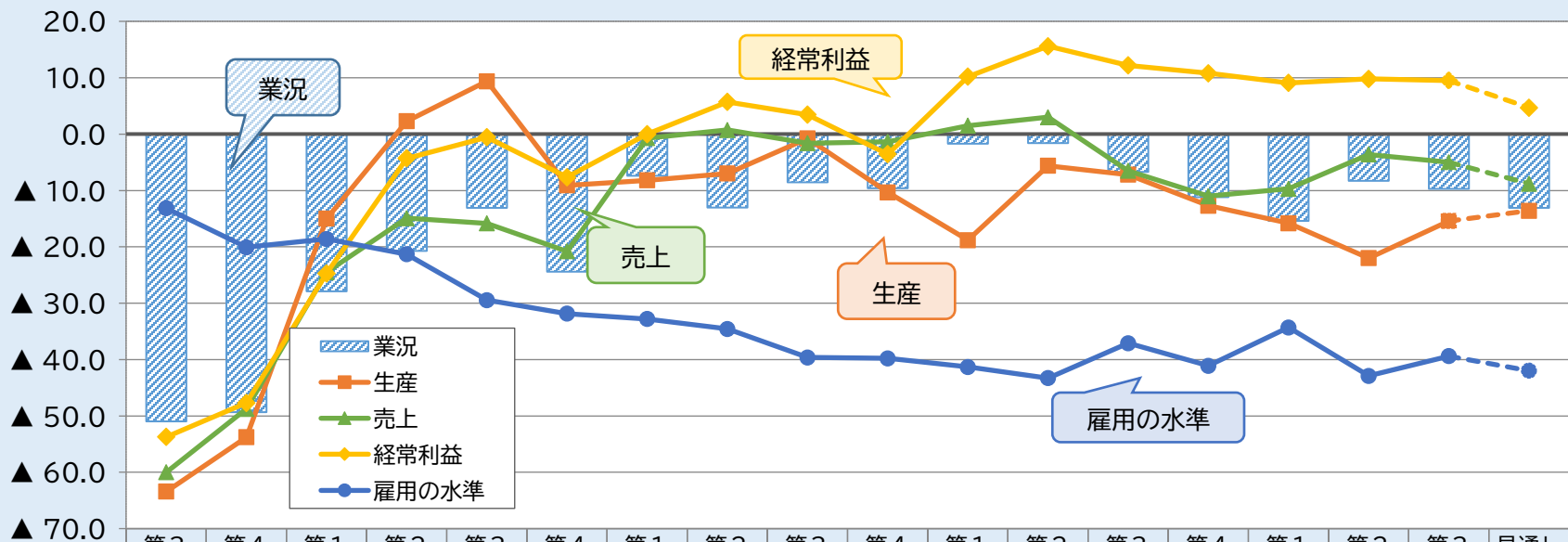
## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

### 各種DIの推移

(令和2年度 第3四半期～令和6年度 第3四半期)



	第3 R2 (2020) 年度		第1 第2 第3 第4 R3 (2021) 年度				第1 第2 第3 第4 R4 (2022) 年度				第1 第2 第3 第4 R5 (2023) 年度				第1 第2 第3 見通し R6 (2024) 年度			
業況	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 27.9	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 9.6	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 6.7	▲ 11.2	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 9.7	▲ 13.1
生産	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 18.8	▲ 5.6	▲ 7.2	▲ 12.7	▲ 15.8	▲ 22.0	▲ 15.4	▲ 13.6
売上	▲ 60.0	▲ 48.8	▲ 24.5	▲ 14.9	▲ 15.8	▲ 20.8	▲ 0.7	0.8	▲ 1.6	▲ 1.4	1.5	3.0	▲ 6.5	▲ 11.0	▲ 9.7	▲ 3.6	▲ 5.0	▲ 8.8
経常利益	▲ 53.7	▲ 47.7	▲ 24.7	▲ 4.3	▲ 0.6	▲ 7.6	0.0	5.7	3.5	▲ 3.6	10.2	15.6	12.2	10.8	9.1	9.8	9.5	4.7
雇用の水準	▲ 13.1	▲ 20.1	▲ 18.6	▲ 21.3	▲ 29.4	▲ 31.8	▲ 32.8	▲ 34.6	▲ 39.6	▲ 39.8	▲ 41.3	▲ 43.3	▲ 37.1	▲ 41.1	▲ 34.3	▲ 42.9	▲ 39.4	▲ 42.0

【今期(令和6年10～12月期)の景況】※前年同時期との比較

業況DI、売上DIはマイナス幅が拡大、生産DIはマイナス幅が縮小、経常利益DIはプラス幅がやや縮小した。

雇用の水準DIはマイナス幅が縮小し、不足感が弱まった。

【来期(令和7年1～3月期)の見通し】

業況DI、売上DIはマイナス幅が拡大、生産DIはマイナス幅が縮小、経常利益DIはプラス幅が縮小する見通し。

雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まる見通し。

1. 調査概要

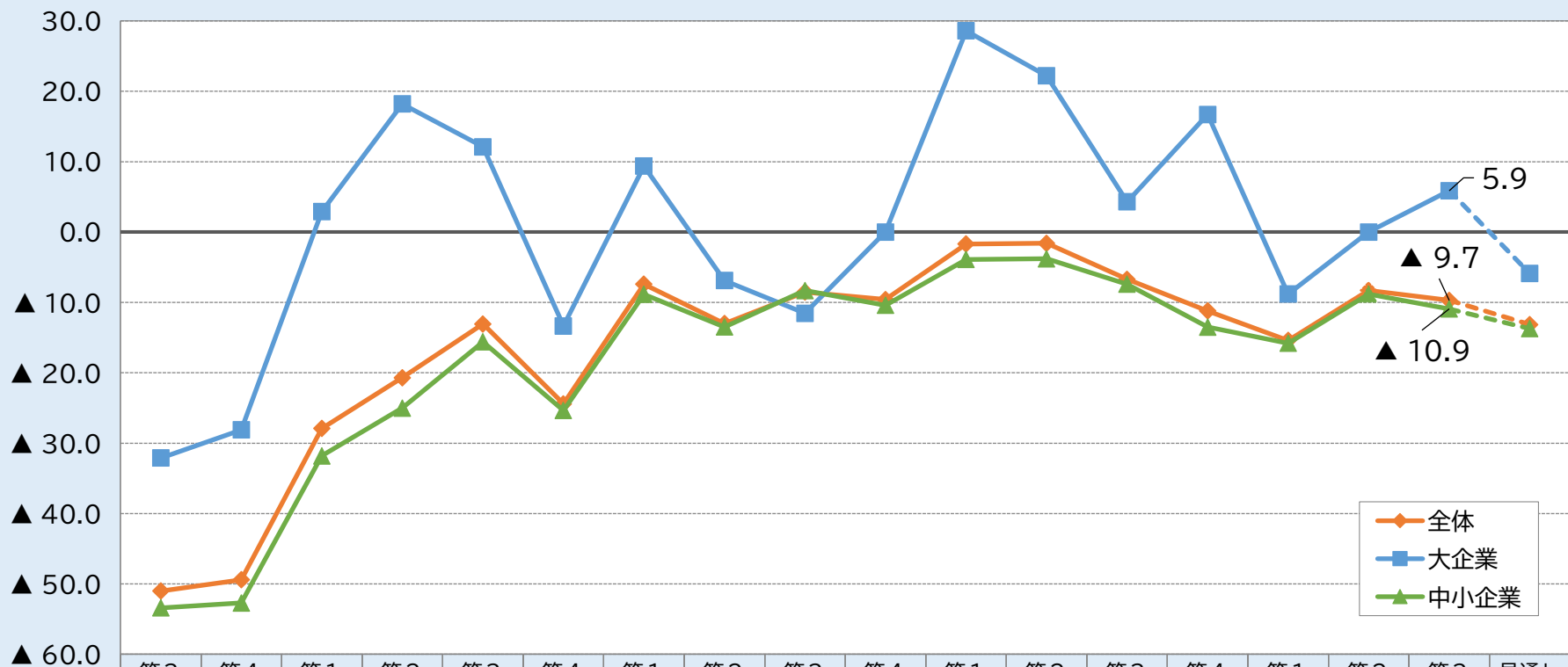
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 【企業規模別】業況DIの推移 (令和2年度 第3四半期～令和6年度 第3四半期)



【大企業】	今期: +5.9とプラス幅が拡大した。	来期: ▲5.9とマイナスに転じる見通し。
【中小企業】	今期: ▲10.9とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲13.7とマイナス幅が拡大する見通し。

# 景況調査結果報告書(令和6年度第3四半期)



## 1. 調査概要

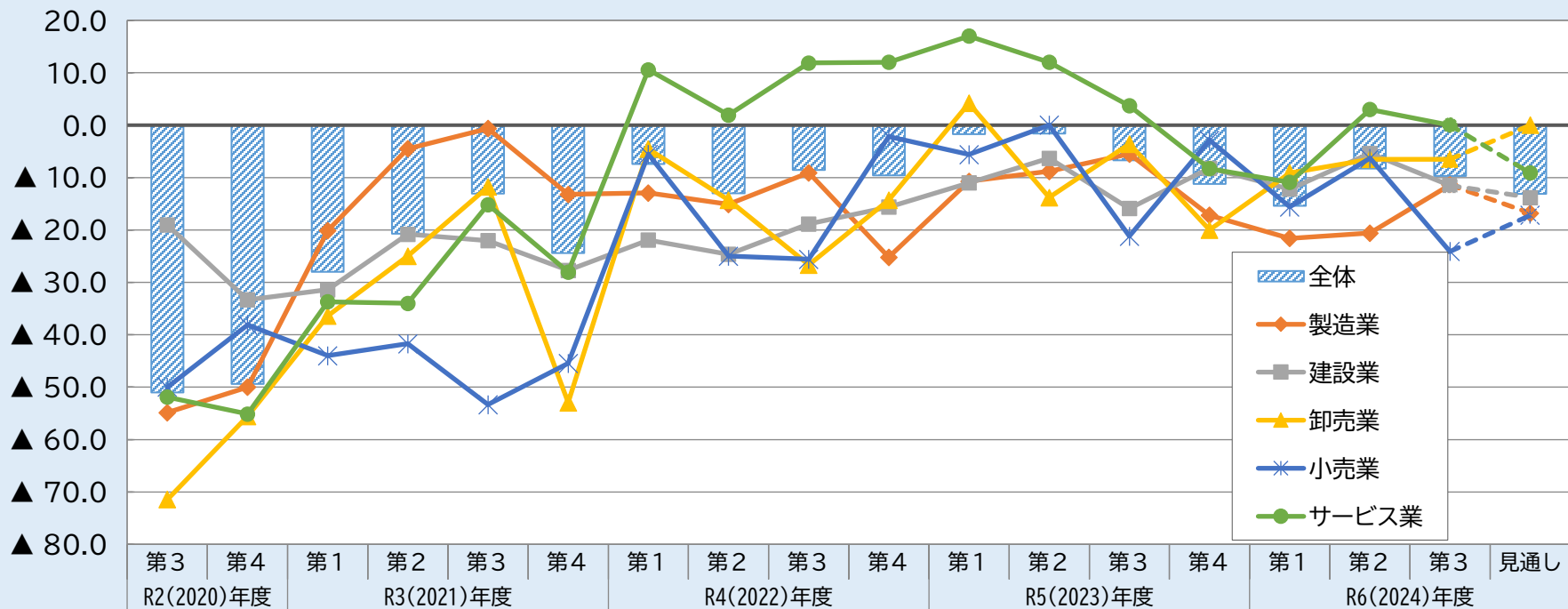
## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

【企業業種別】業況DIの推移(令和2年度第3四半期～令和6年度第3四半期)

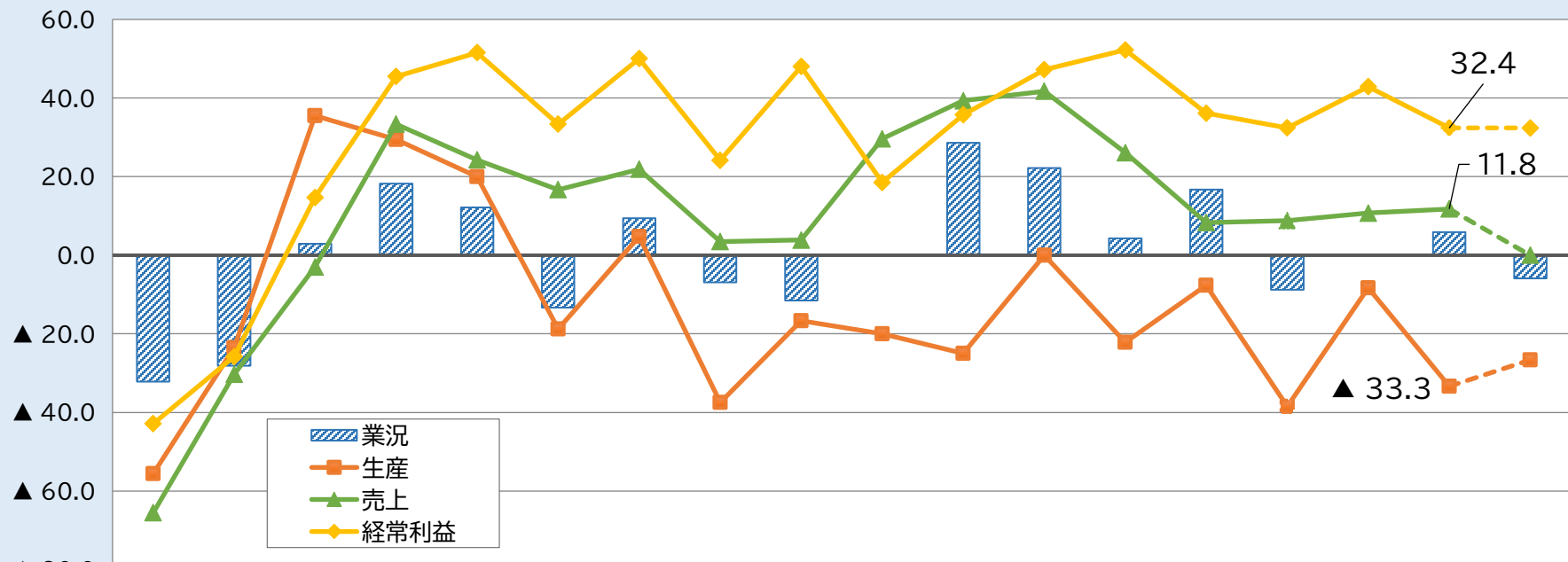


【製造業】	今期: ▲11.4とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲16.8とマイナス幅が拡大する見通し。
【建設業】	今期: ▲11.5とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲13.8とマイナス幅が拡大する見通し。
【卸売業】	今期: ▲6.5と同水準で推移した。	来期: 0.0とマイナス幅が縮小する見通し。
【小売業】	今期: ▲24.1とマイナス幅が大幅に拡大した。	来期: ▲17.2とマイナス幅が縮小する見通し。
【サービス業】	今期: 0.0とプラス幅が縮小した。	来期: ▲9.1とマイナスに転じる見通し。



1. 調査概要    2. 全体    **3. 規模別**    4. 業種別    5. 追加設問

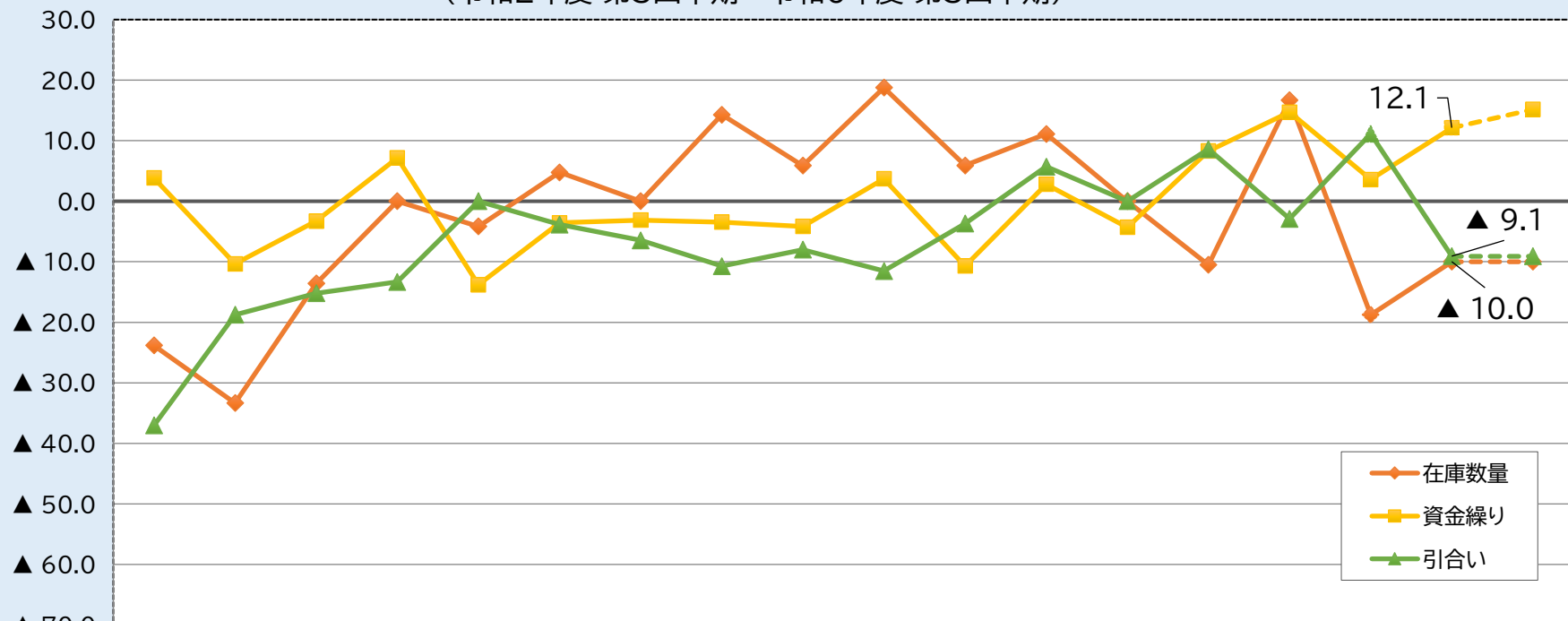
## 【大企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (令和2年度 第3四半期～令和6年度 第3四半期)



	R2 (2020) 年度		R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度				R6 (2024) 年度			
	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
業況	▲ 32.1	▲ 28.1	2.9	18.2	12.1	▲ 13.3	9.4	▲ 6.9	▲ 11.5	0.0	28.6	22.2	4.3	16.7	▲ 8.8	0.0	5.9	▲ 5.9
生産	▲ 55.6	▲ 23.5	35.5	29.4	20.0	▲ 18.8	4.8	▲ 37.5	▲ 16.7	▲ 20.0	▲ 25.0	0.0	▲ 22.2	▲ 7.7	▲ 38.5	▲ 8.3	▲ 33.3	▲ 26.7
売上	▲ 65.5	▲ 30.3	▲ 3.0	33.3	24.2	16.7	21.9	3.4	3.8	29.6	39.3	41.7	26.1	8.3	8.8	10.7	11.8	0.0
経常利益	▲ 42.9	▲ 25.8	14.7	45.5	51.5	33.3	50.0	24.1	48.0	18.5	35.7	47.2	52.2	36.1	32.4	42.9	32.4	32.4

【業況】	今期: +5.9とプラスに転じた。	来期: ▲5.9とマイナスに転じる見通し。
【生産】	今期: ▲33.3とマイナス幅が大幅に拡大した。	来期: ▲26.7とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: +11.8とプラス幅が拡大した。	来期: 0.0とプラス幅が大幅に縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +32.4とプラス幅が大幅に縮小した。	来期: +32.4と同水準の見通し。

## 【大企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度 第3四半期～令和6年度 第3四半期)

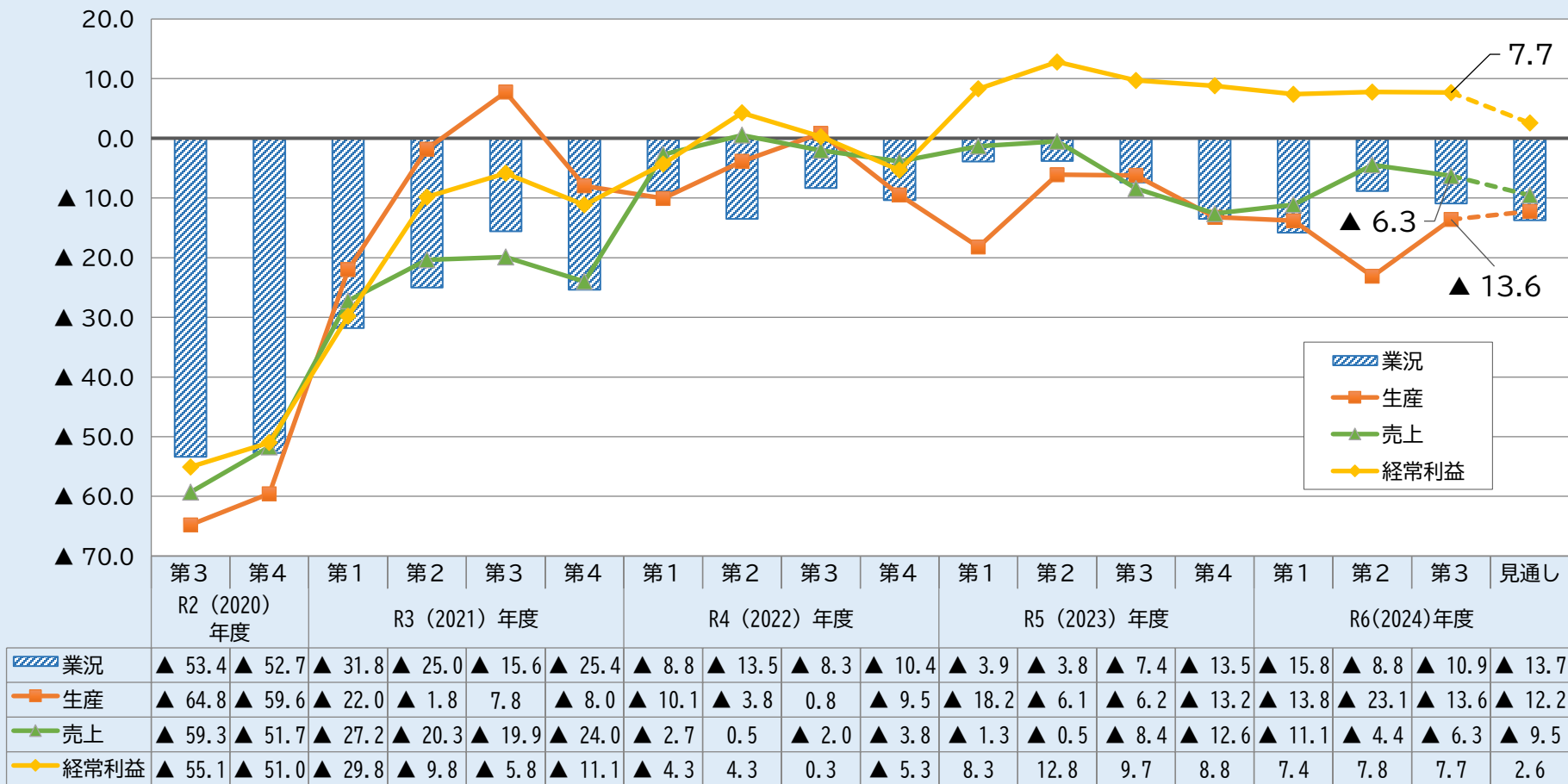


	第3 R2 (2020) 年度	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
	R3 (2021) 年度						R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度				R6 (2024) 年度			
在庫数量	▲ 23.8	▲ 33.3	▲ 13.6	0.0	▲ 4.2	4.8	0.0	14.3	5.9	18.8	5.9	11.1	0.0	▲ 10.5	16.7	▲ 18.8	▲ 10.0	▲ 10.0
資金繰り	3.8	▲ 10.3	▲ 3.3	7.1	▲ 13.8	▲ 3.6	▲ 3.1	▲ 3.4	▲ 4.2	3.7	▲ 10.7	2.8	▲ 4.3	8.3	14.7	3.6	12.1	15.2
引合い	▲ 37.0	▲ 18.8	▲ 15.2	▲ 13.3	0.0	▲ 3.8	▲ 6.5	▲ 10.7	▲ 8.0	▲ 11.5	▲ 3.7	5.7	0.0	8.6	▲ 2.9	11.1	▲ 9.1	▲ 9.1

【在庫数量】	今期: ▲10.0とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲10.0と同水準の見通し。
【資金繰り】	今期: +12.1とプラス幅が拡大した。	来期: +15.2とプラス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲9.1とマイナスに転じた。	来期: ▲9.1と同水準の見通し。

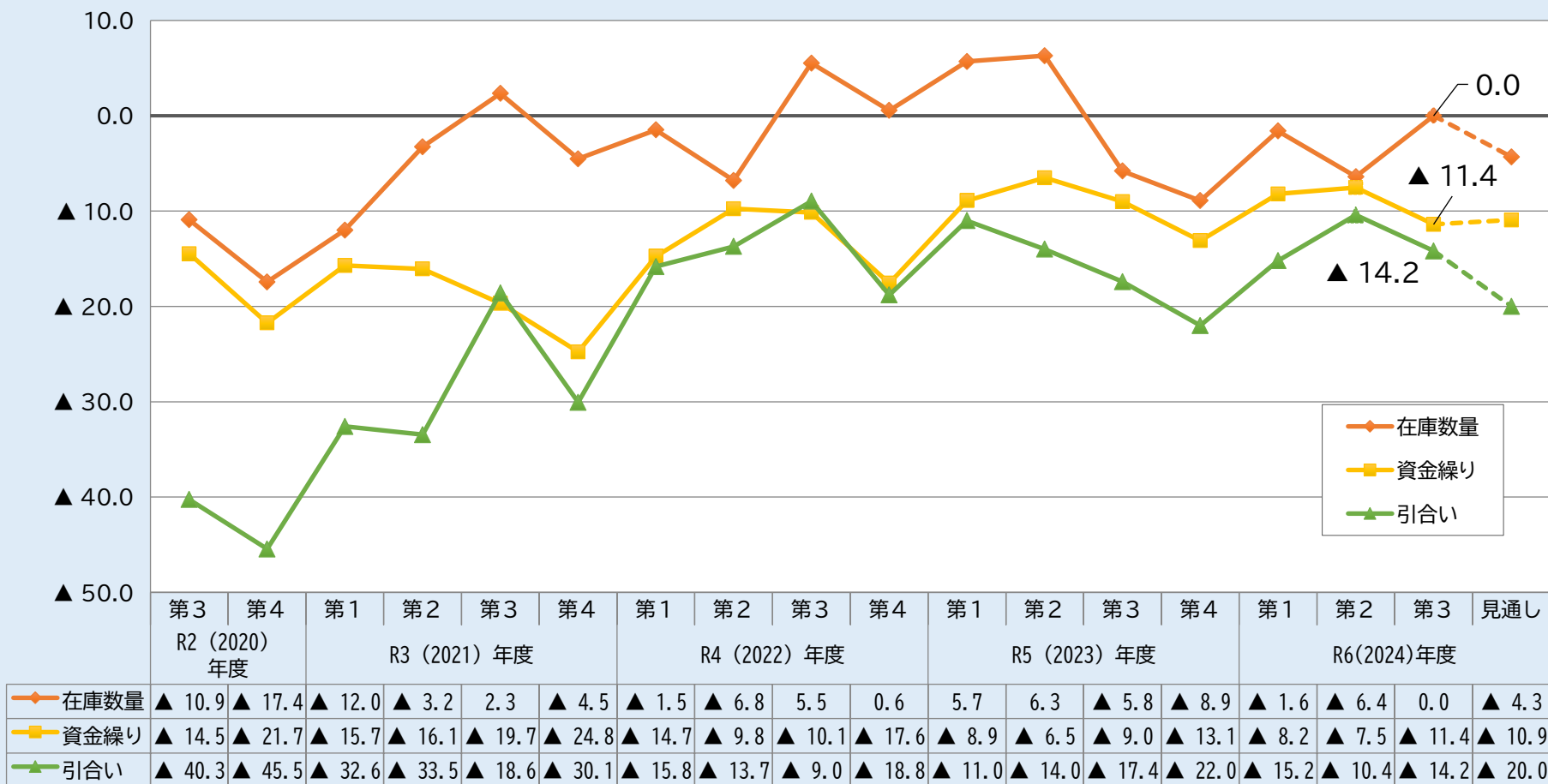
1. 調査概要    2. 全体    **3. 規模別**    4. 業種別    5. 追加設問

## 【中小企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (令和2年度 第3四半期～令和6年度 第3四半期)



【業況】	今期: ▲10.9とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲13.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期: ▲13.6とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲12.2とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: ▲6.3とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲9.5とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +7.7とプラス幅がやや縮小した。	来期: +2.6とプラス幅が縮小する見通し。

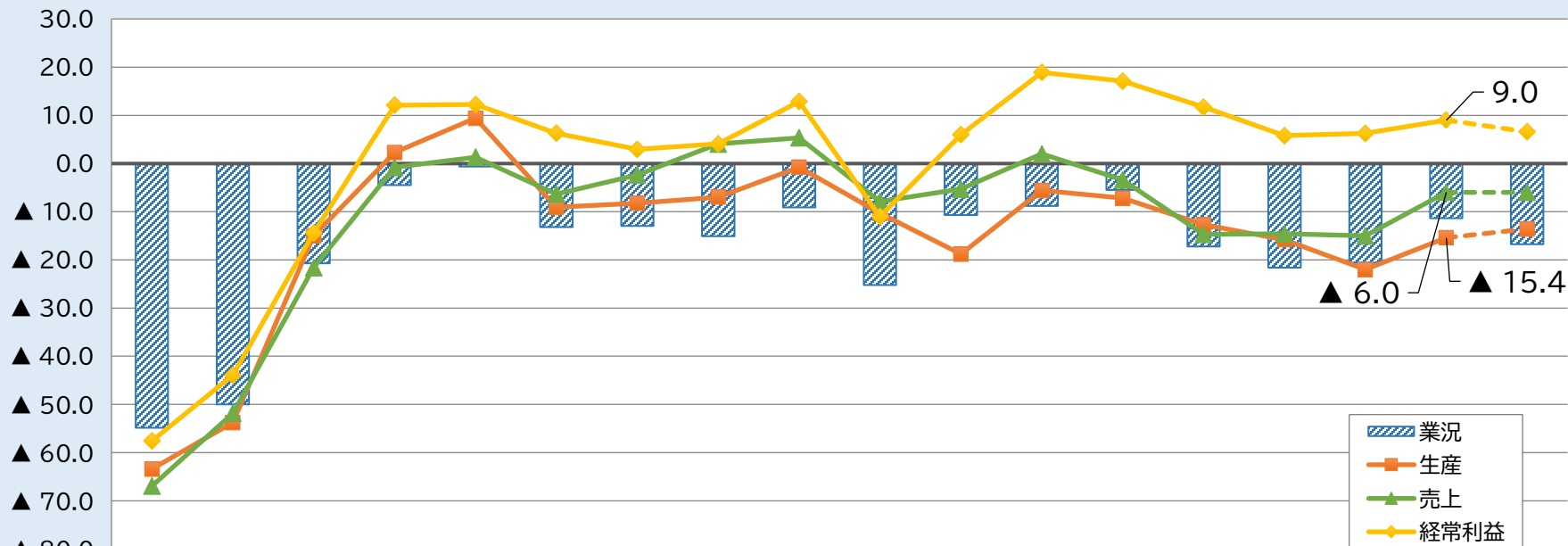
## 【中小企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度 第3四半期～令和6年度 第3四半期)



【在庫数量】	今期: 0.0とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲4.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲11.4とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲10.9とマイナス幅がやや縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲14.2とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲20.0とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

【製造業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向  
(令和2年度 第3四半期～令和6年度 第3四半期)



	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
	R2 (2020) 年度		R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度				R6 (2024) 年度			
業況	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.7	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 9.1	▲ 25.2	▲ 10.7	▲ 8.8	▲ 5.5	▲ 17.2	▲ 21.6	▲ 20.6	▲ 11.4	▲ 16.8
生産	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 18.8	▲ 5.6	▲ 7.2	▲ 12.7	▲ 15.8	▲ 22.0	▲ 15.4	▲ 13.6
売上	▲ 66.9	▲ 51.9	▲ 21.6	▲ 0.8	1.3	▲ 6.3	▲ 2.4	4.1	5.3	▲ 7.9	▲ 5.3	2.0	▲ 3.4	▲ 14.7	▲ 14.6	▲ 15.0	▲ 6.0	▲ 6.0
経常利益	▲ 57.6	▲ 43.9	▲ 14.4	12.1	12.3	6.3	2.9	4.1	12.9	▲ 11.0	6.0	18.9	17.1	11.7	5.8	6.3	9.0	6.6

【業況】	今期: ▲11.4とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲16.8とマイナス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期: ▲15.4とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲13.6とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: ▲6.0とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲6.0と同水準の見通し。
【経常利益】	今期: +9.0とプラス幅が拡大した。	来期: +6.6とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要

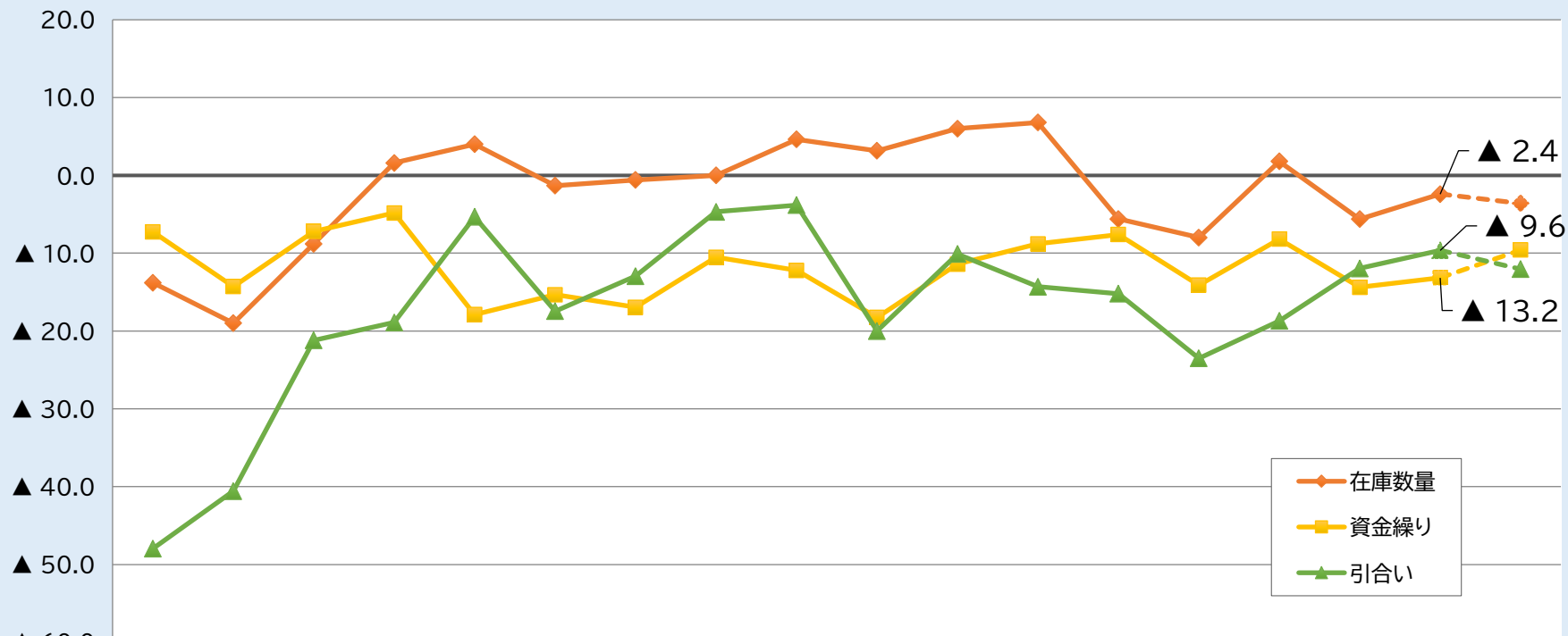
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【製造業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向  
(令和2年度第3四半期～令和6年度第3四半期)



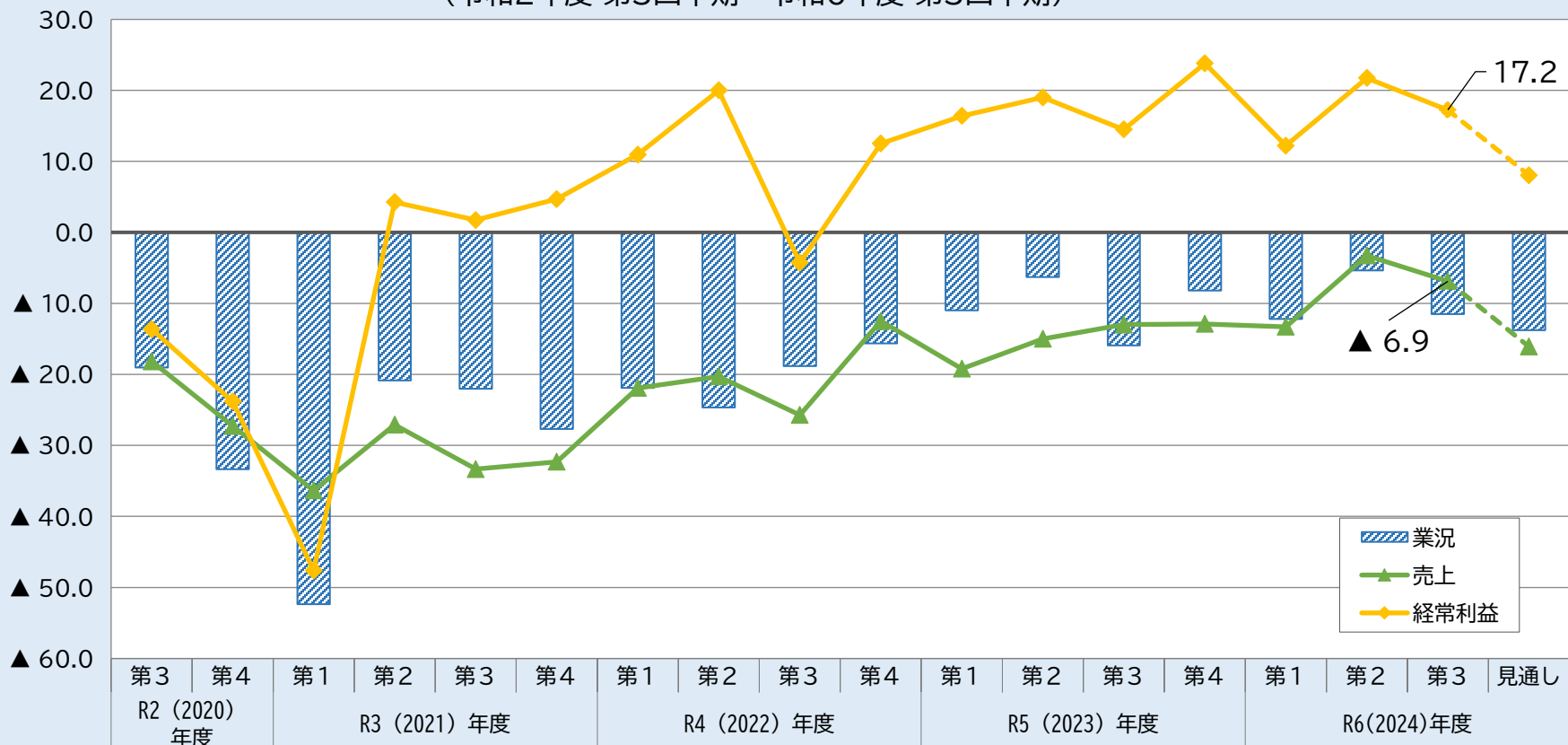
	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
	R2 (2020) 年度		R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度				R6 (2024) 年度			
在庫数量	▲ 13.8	▲ 19.0	▲ 8.8	1.6	4.0	▲ 1.3	▲ 0.6	0.0	4.6	3.1	6.0	6.8	▲ 5.6	▲ 8.0	1.8	▲ 5.6	▲ 2.4	▲ 3.6
資金繰り	▲ 7.3	▲ 14.3	▲ 7.2	▲ 4.8	▲ 17.9	▲ 15.3	▲ 17.0	▲ 10.5	▲ 12.2	▲ 18.3	▲ 11.4	▲ 8.8	▲ 7.6	▲ 14.1	▲ 8.2	▲ 14.4	▲ 13.2	▲ 9.6
引合い	▲ 48.0	▲ 40.6	▲ 21.2	▲ 18.9	▲ 5.3	▲ 17.4	▲ 12.9	▲ 4.7	▲ 3.8	▲ 20.0	▲ 10.1	▲ 14.3	▲ 15.2	▲ 23.5	▲ 18.7	▲ 11.9	▲ 9.6	▲ 12.0

【在庫数量】	今期: ▲2.4とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲3.6とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲13.2とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲9.6とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲9.6とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲12.0とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【建設業】①「業況・売上・経常利益」の動向

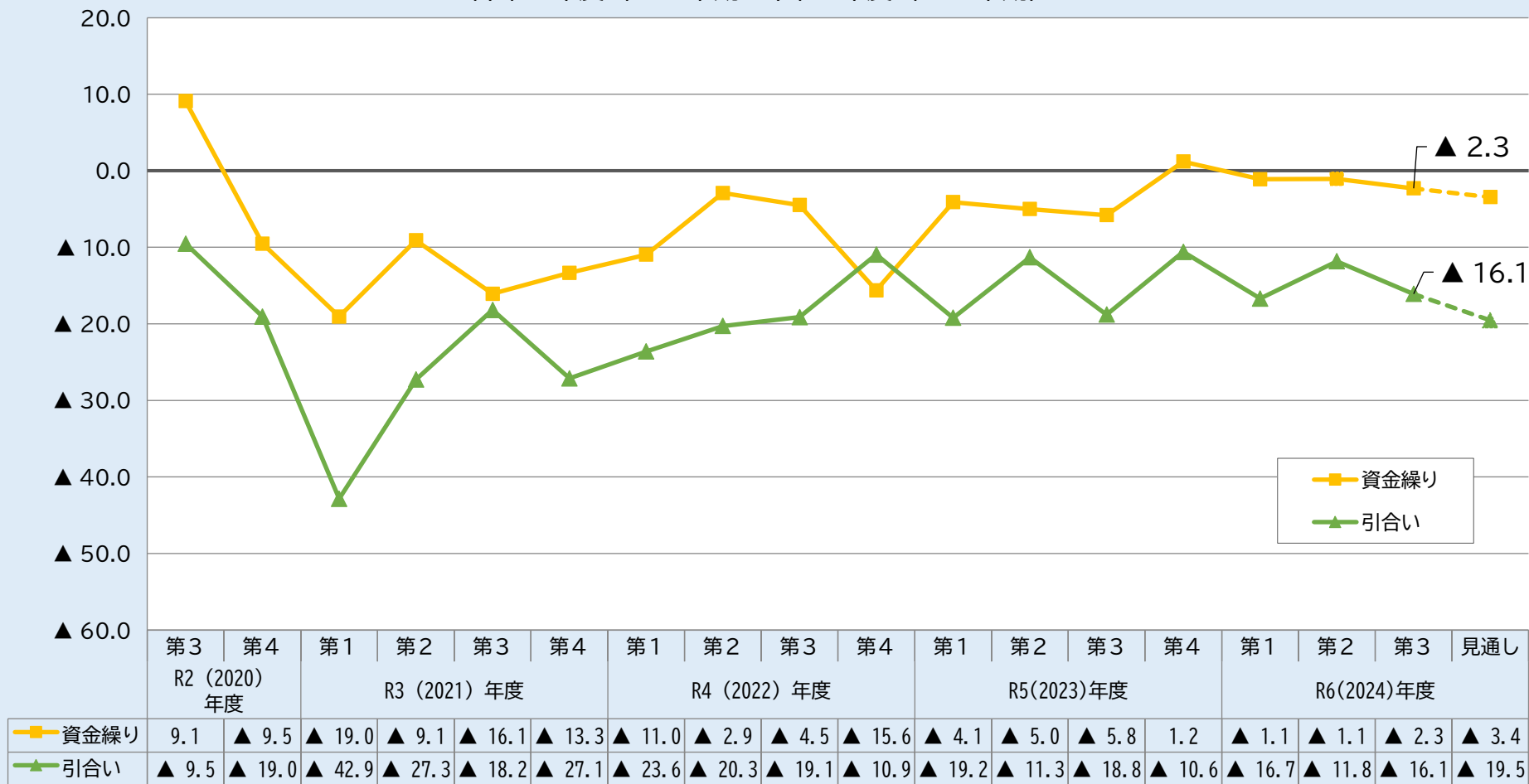
(令和2年度 第3四半期～令和6年度 第3四半期)



業況	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 52.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 27.7	▲ 21.9	▲ 24.6	▲ 18.8	▲ 15.6	▲ 11.0	▲ 6.3	▲ 15.9	▲ 8.2	▲ 12.2	▲ 5.4	▲ 11.5	▲ 13.8
売上	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.1	▲ 33.3	▲ 32.3	▲ 21.9	▲ 20.3	▲ 25.7	▲ 12.5	▲ 19.2	▲ 15.0	▲ 13.0	▲ 12.9	▲ 13.3	▲ 3.3	▲ 6.9	▲ 16.1
経常利益	▲ 13.6	▲ 23.8	▲ 47.6	4.3	1.7	4.7	11.0	20.0	▲ 4.3	12.5	16.4	19.0	14.5	23.8	12.2	21.7	17.2	8.0

【業況】	今期: ▲11.5とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲13.8とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: ▲6.9とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲16.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +17.2とプラス幅が縮小した。	来期: +8.0とプラス幅が縮小する見通し。

## 【建設業】②「資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度 第3四半期～令和6年度 第3四半期)

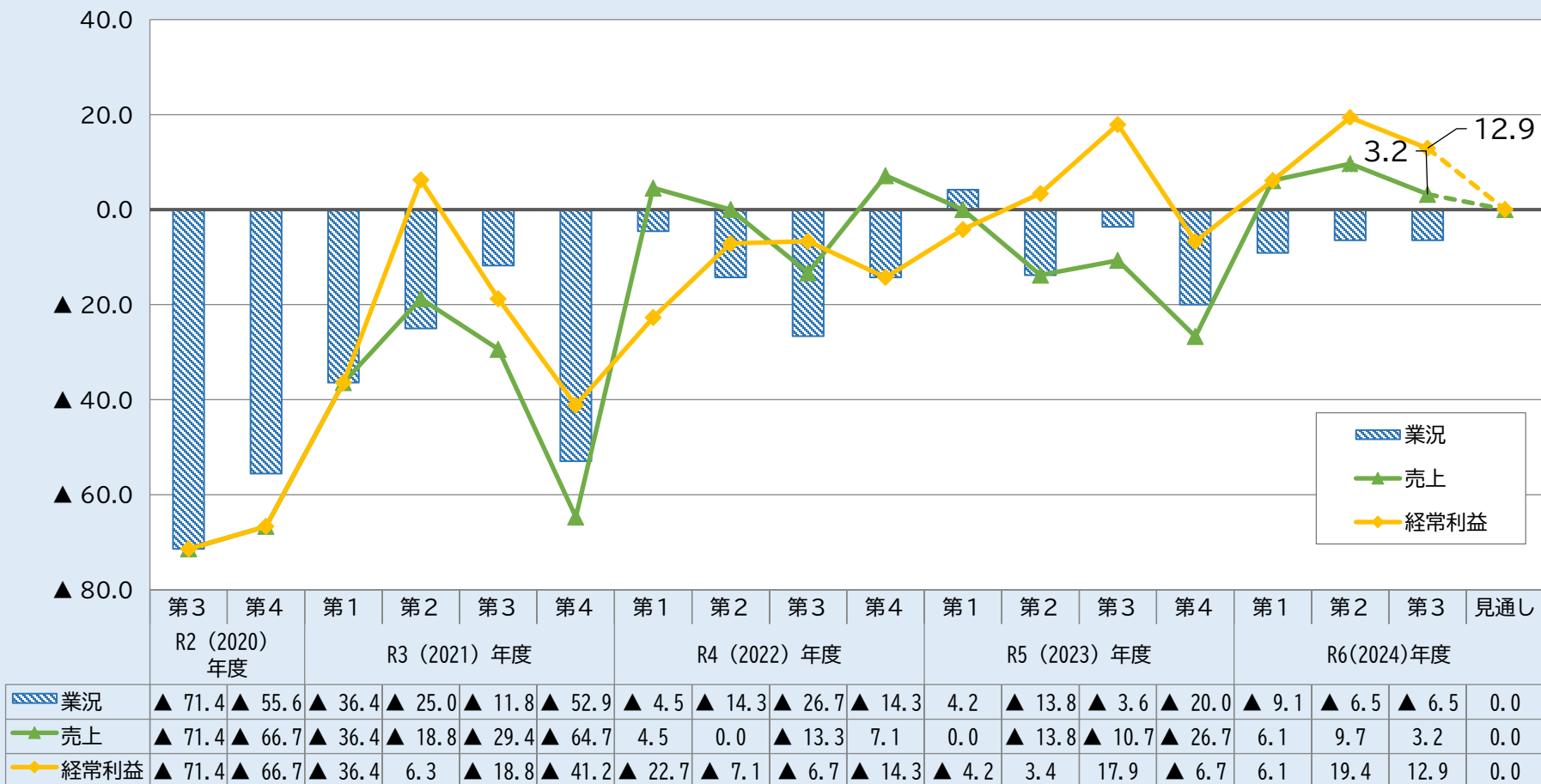


【資金繰り】	今期: ▲2.3とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲3.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲16.1とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲19.5とマイナス幅が拡大する見通し。



1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

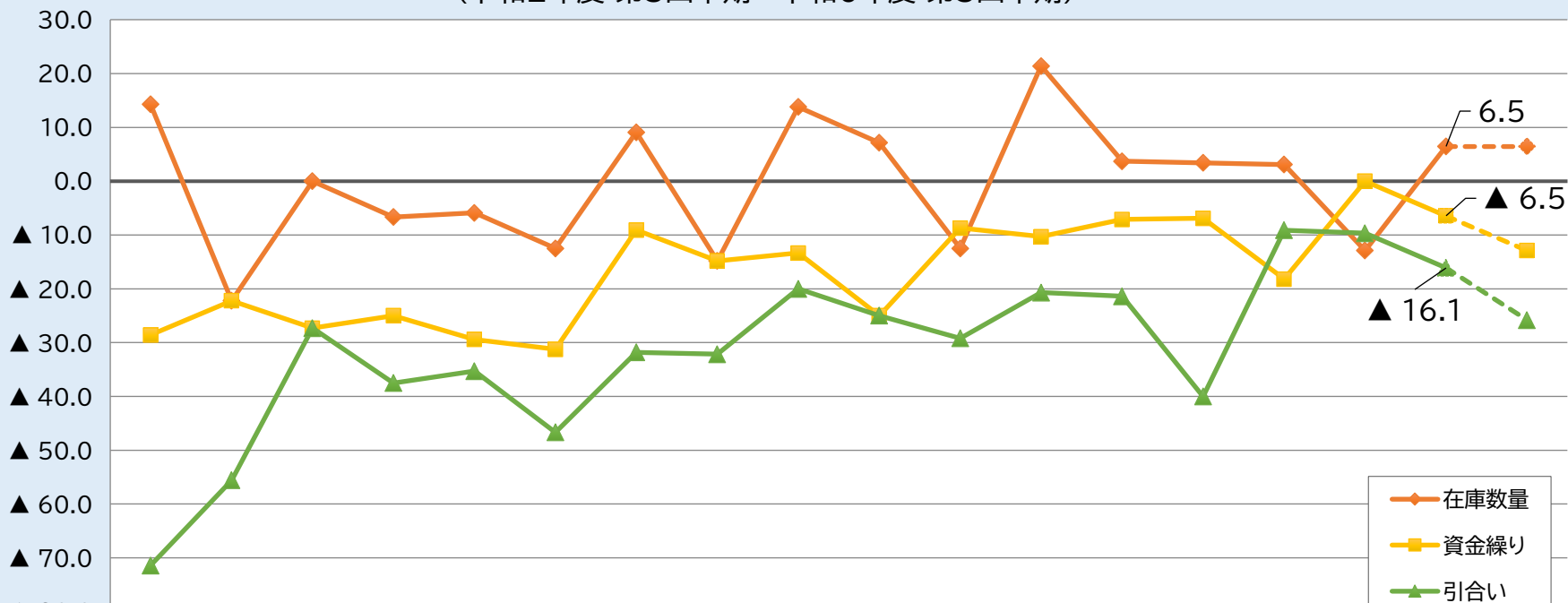
【卸売業】①「業況・売上・経常利益」の動向  
(令和2年度第3四半期～令和6年度第3四半期)



【業況】	今期: ▲6.5と同水準で推移した。	来期: 0.0とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: +3.2とプラス幅が縮小した。	来期: 0.0とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +12.9とプラス幅が縮小した。	来期: 0.0とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【卸売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度第3四半期～令和6年度第3四半期)

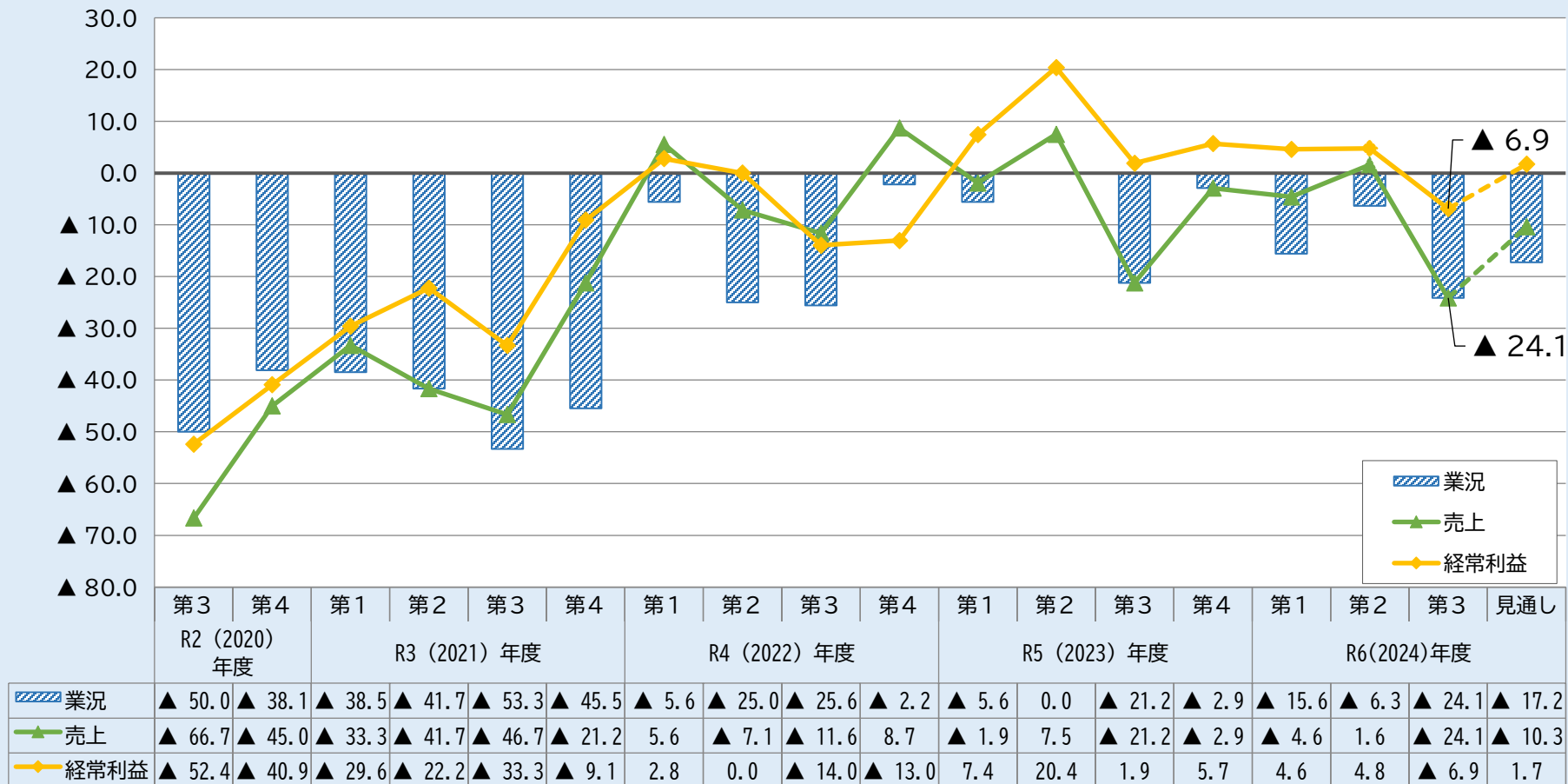


	R2 (2020) 年度		R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度				R6 (2024) 年度			
	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
在庫数量	14.3	▲ 22.2	0.0	▲ 6.7	▲ 5.9	▲ 12.5	9.1	▲ 14.8	13.8	7.1	▲ 12.5	21.4	3.7	3.4	3.1	▲ 12.9	6.5	6.5
資金繰り	▲ 28.6	▲ 22.2	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 29.4	▲ 31.3	▲ 9.1	▲ 14.8	▲ 13.3	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 10.3	▲ 7.1	▲ 6.9	▲ 18.2	0.0	▲ 6.5	▲ 12.9
引合い	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 27.3	▲ 37.5	▲ 35.3	▲ 46.7	▲ 31.8	▲ 32.1	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 20.7	▲ 21.4	▲ 40.0	▲ 9.1	▲ 9.7	▲ 16.1	▲ 25.8

【在庫数量】	今期: +6.5とプラスに転じた。	来期: +6.5と同水準の見通し。
【資金繰り】	今期: ▲6.5とマイナスに転じた。	来期: ▲12.9とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲16.1とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲25.8とマイナス幅が拡大する見通し。

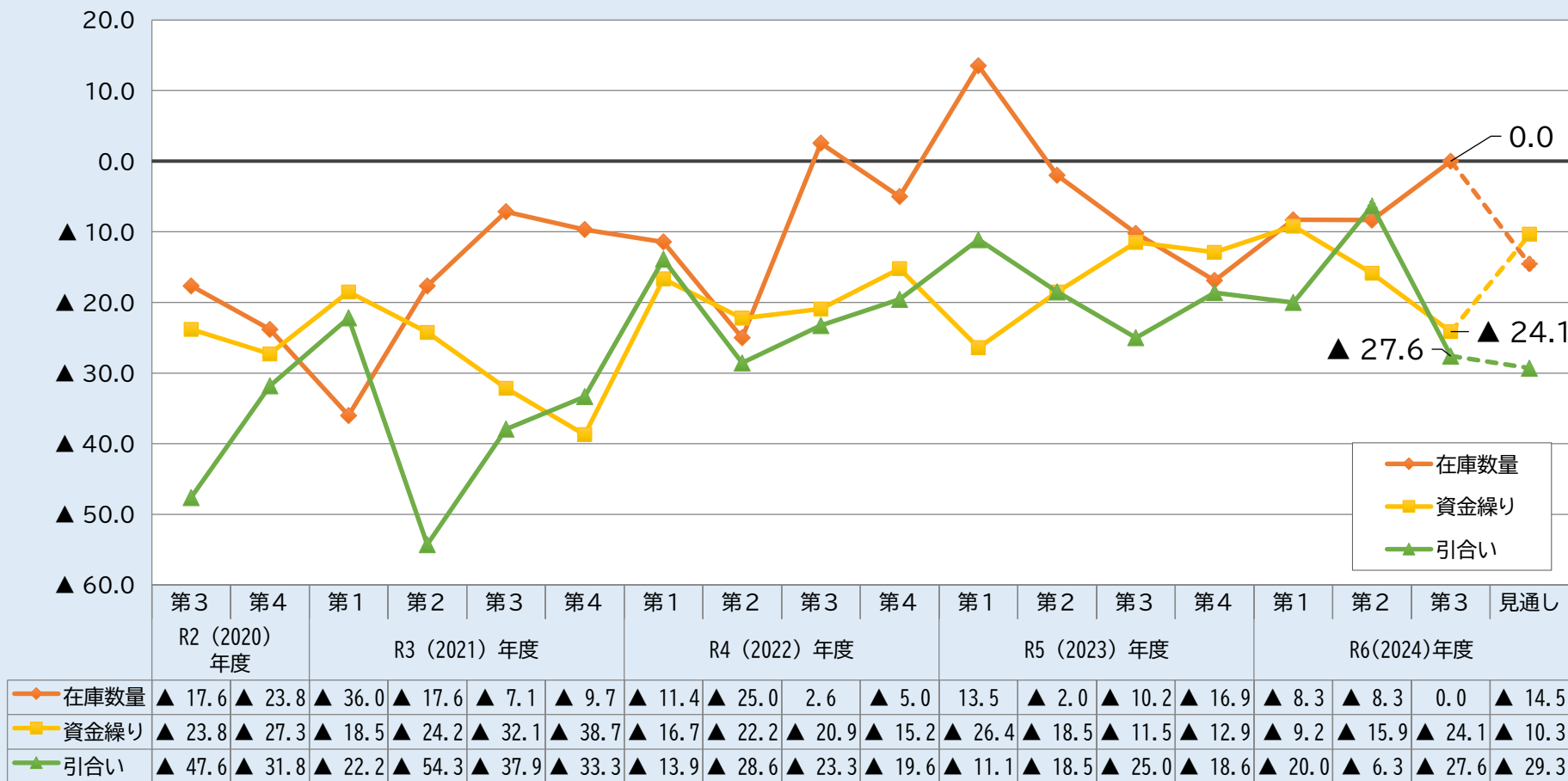
1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【小売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和2年度 第3四半期～令和6年度 第3四半期)



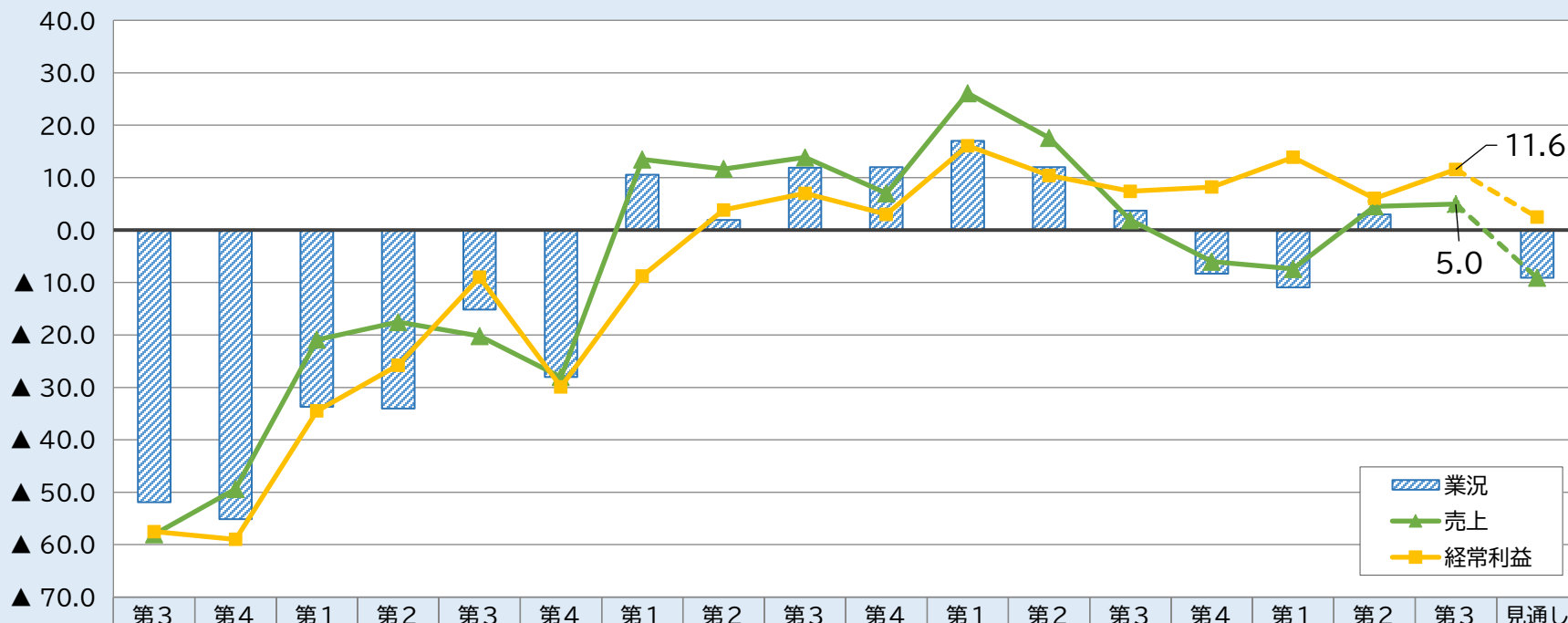
【業況】	今期: ▲24.1とマイナス幅が大幅に拡大した。	来期: ▲17.2とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: ▲24.1とマイナスに転じた。	来期: ▲10.3とマイナス幅が大幅に縮小する見通し。
【経常利益】	今期: ▲6.9とマイナスに転じた。	来期: +1.7とプラスに転じる見通し。

## 【小売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度 第3四半期～令和6年度 第3四半期)



【在庫数量】	今期: 0.0とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲14.5とマイナス幅が大幅に拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲24.1とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲10.3とマイナス幅が大幅に縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲27.6とマイナス幅が大幅に拡大した。	来期: ▲29.3とマイナス幅が拡大する見通し。

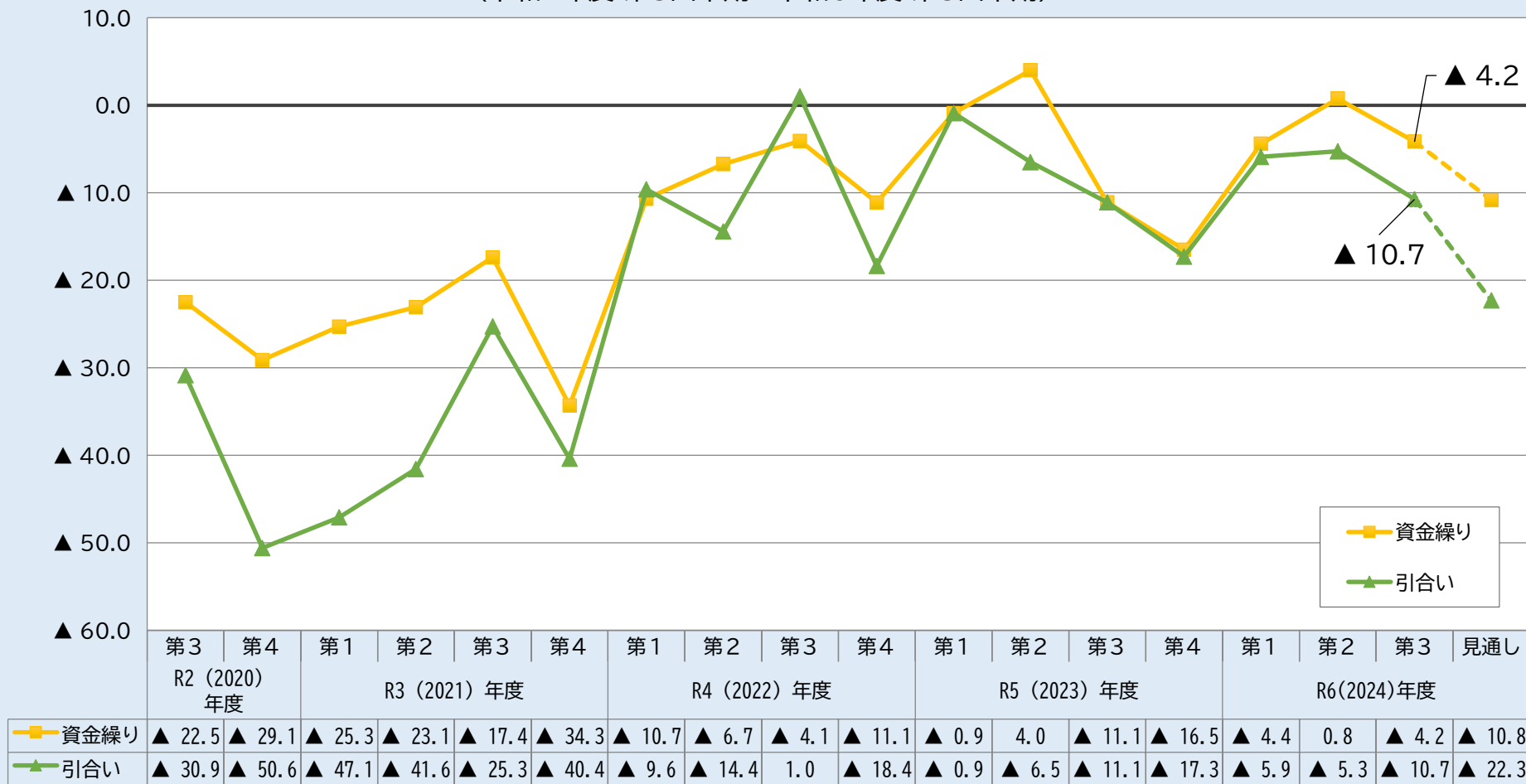
## 【サービス業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和2年度 第3四半期～令和6年度 第3四半期)



	R2 (2020) 年度		R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度				R6 (2024) 年度			
	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
業況	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 28.0	10.6	1.9	11.9	12.0	17.0	12.0	3.7	▲ 8.3	▲ 10.9	3.0	0.0	▲ 9.1
売上	▲ 58.0	▲ 49.4	▲ 20.9	▲ 17.5	▲ 20.2	▲ 28.0	13.5	11.7	13.9	7.0	26.1	17.6	1.9	▲ 6.0	▲ 7.4	4.5	5.0	▲ 9.1
経常利益	▲ 57.5	▲ 59.0	▲ 34.5	▲ 25.8	▲ 9.0	▲ 29.9	▲ 8.7	3.8	7.0	3.0	16.1	10.4	7.4	8.2	13.9	6.0	11.6	2.5

【業況】	今期:0.0とプラス幅が縮小した。	来期:▲9.1とマイナスに転じる見通し。
【売上】	今期:+5.0とプラス幅がやや拡大した。	来期:▲9.1とマイナスに転じる見通し。
【経常利益】	今期:+11.6とプラス幅が拡大した。	来期:+2.5とプラス幅が縮小する見通し。

## 【サービス業】②「資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度 第3四半期～令和6年度 第3四半期)



【資金繰り】	今期: ▲4.2とマイナスに転じた。	来期: ▲10.8とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲10.7とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲22.3とマイナス幅が大幅に拡大する見通し。

# 景況調査結果報告書(令和6年度第3四半期)



## 1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

業況判断	企業コメント	業種
好転	インバウンド増加により売上が増加。	サービス業
	今年度は昨年度に比べて景気が戻りつつある。来年度は国スポもあり、関係人口が増えると見込まれるため、改善の見通し。	サービス業
	今期は省エネ関連商品の補助金政策のため、販売が好調に推移。	小売業
	売上は順調に伸びているが、燃料価格が高止まりしているため利益を圧迫している。	サービス業
	労務費の価格転嫁が好影響を与えた。	製造業
不変	若年者の早期退職者が増加傾向にある。職業紹介業によるあっせんで「継続は力なり」の教訓が薄れてきているように感じる。	建設業
	仕入価格が上がったため、売上も上がった。	卸売業
	引き合いは多いものの、人材不足により受注を抑制する必要がある。環境対策における車両積載量の減少・人材不足により、輸送量の低下が懸念される。	建設業
	最低賃金が2年間で約100円上昇しており、コストが高くなっている分の値上げが容易でない。	製造業
悪化	新卒の雇用が確保できないため、中途採用等にて目標値を目指している状況。	製造業
	材料高騰の理解は一定的に得られたと考えるが、下請け企業の工事価格が上がっているかという、そういう現実ではない。	建設業
	物価高騰の影響か高級食材の売れ行きが悪いのに加え、インバウンド需要が滋賀県は弱く取り込めていない。	小売業
	多品種、小ロット生産で品数が増え、材料在庫が増加している。	製造業
	中国景気悪化の影響で輸出品にからむ加工減少。	製造業
	従業員が不足しているが、業績が悪く新たに雇用する余裕がない。	サービス業

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 【追加設問 1】

エネルギー・原材料価格の上昇の影響について



1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

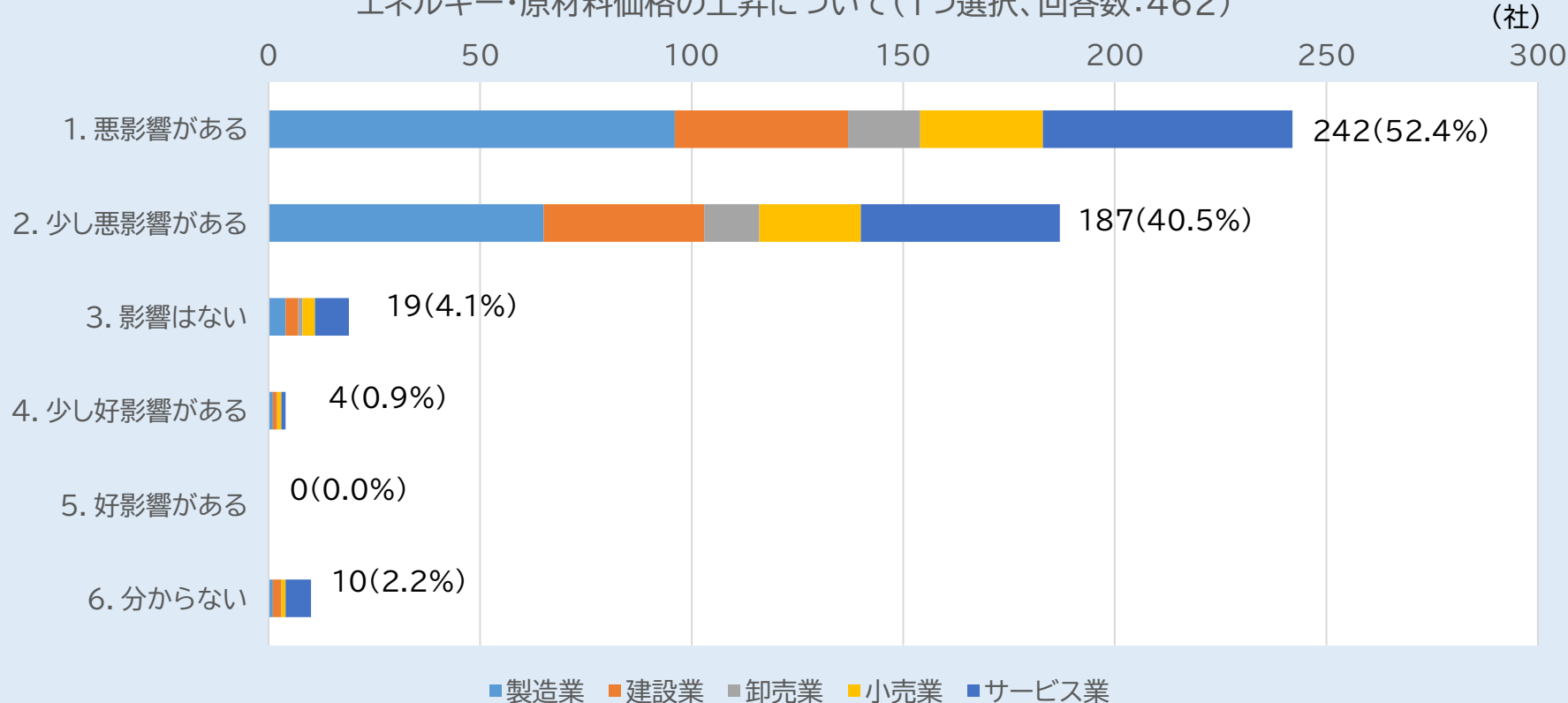
4. 業種別

5. 追加設問

## エネルギー・原材料価格の上昇が及ぼす影響(全体)

- エネルギー・原材料価格上昇の影響について尋ねたところ、「悪影響がある」が最も多かった。
- 「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計は、全体の約93%に上った。

エネルギー・原材料価格の上昇について(1つ選択、回答数:462)



1. 調査概要

2. 全体

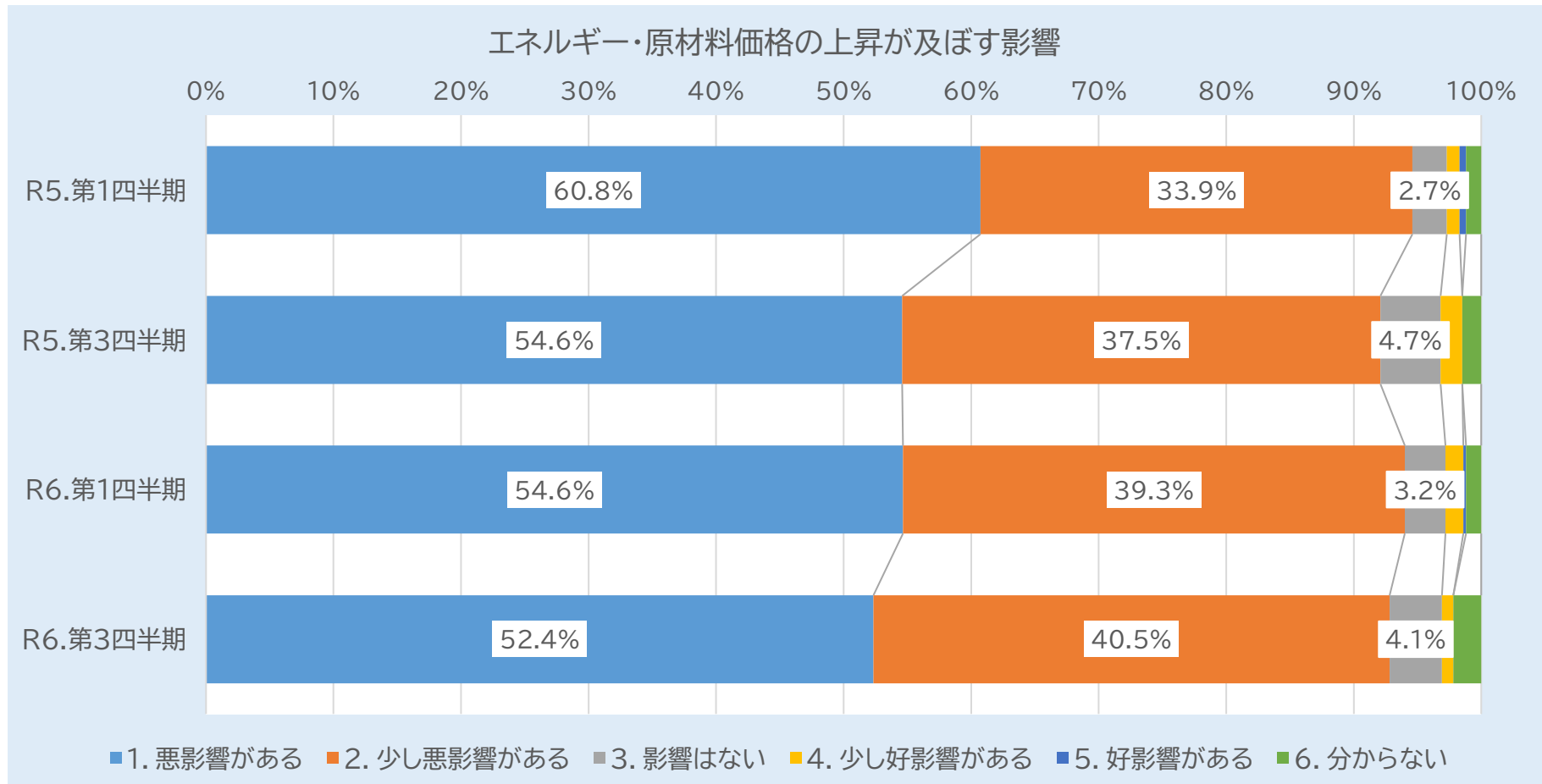
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## エネルギー・原材料価格の上昇が及ぼす影響(令和5年度第1四半期からの比較)

- エネルギー・原材料価格上昇の影響について、令和5年度第1四半期から令和6年度第3四半期までを比較したところ、「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計は、いずれも全体の90%以上を占めた。

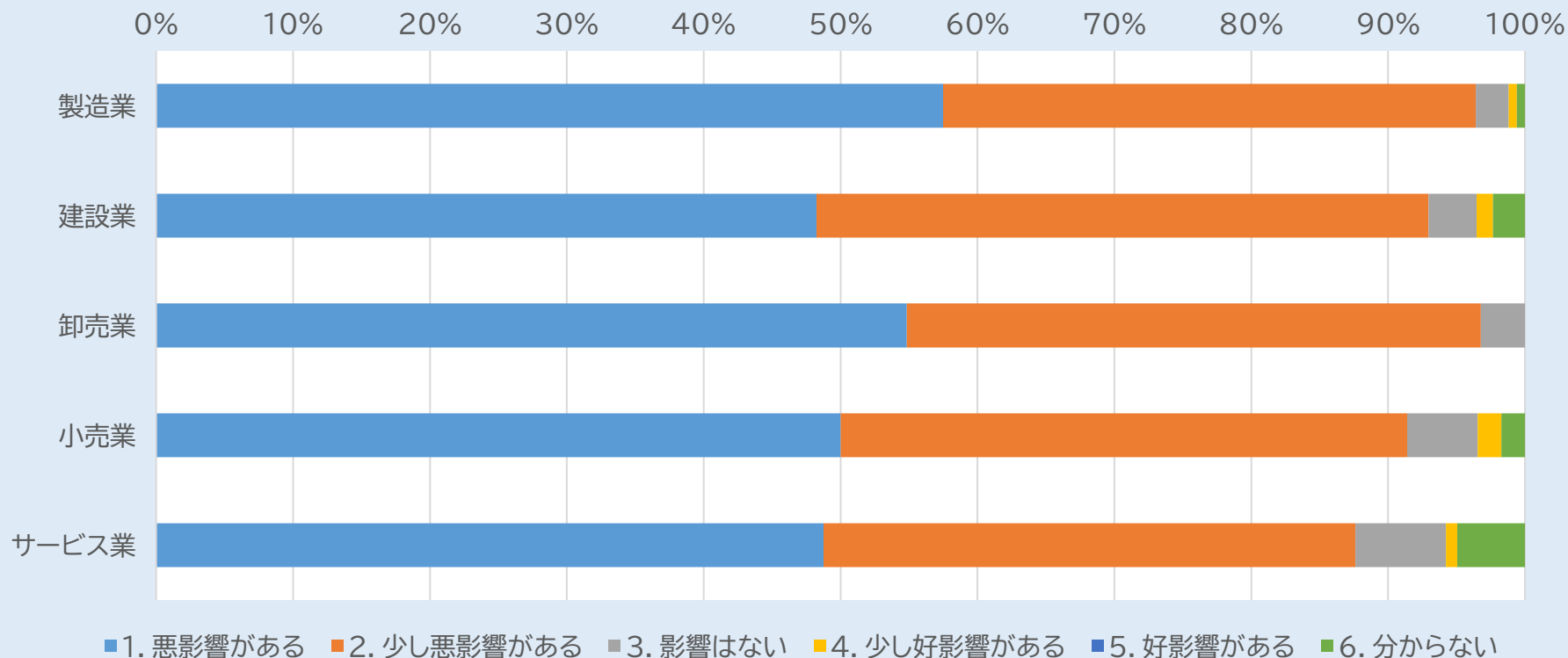


※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

## エネルギー・原材料価格の上昇が及ぼす影響(業種別)

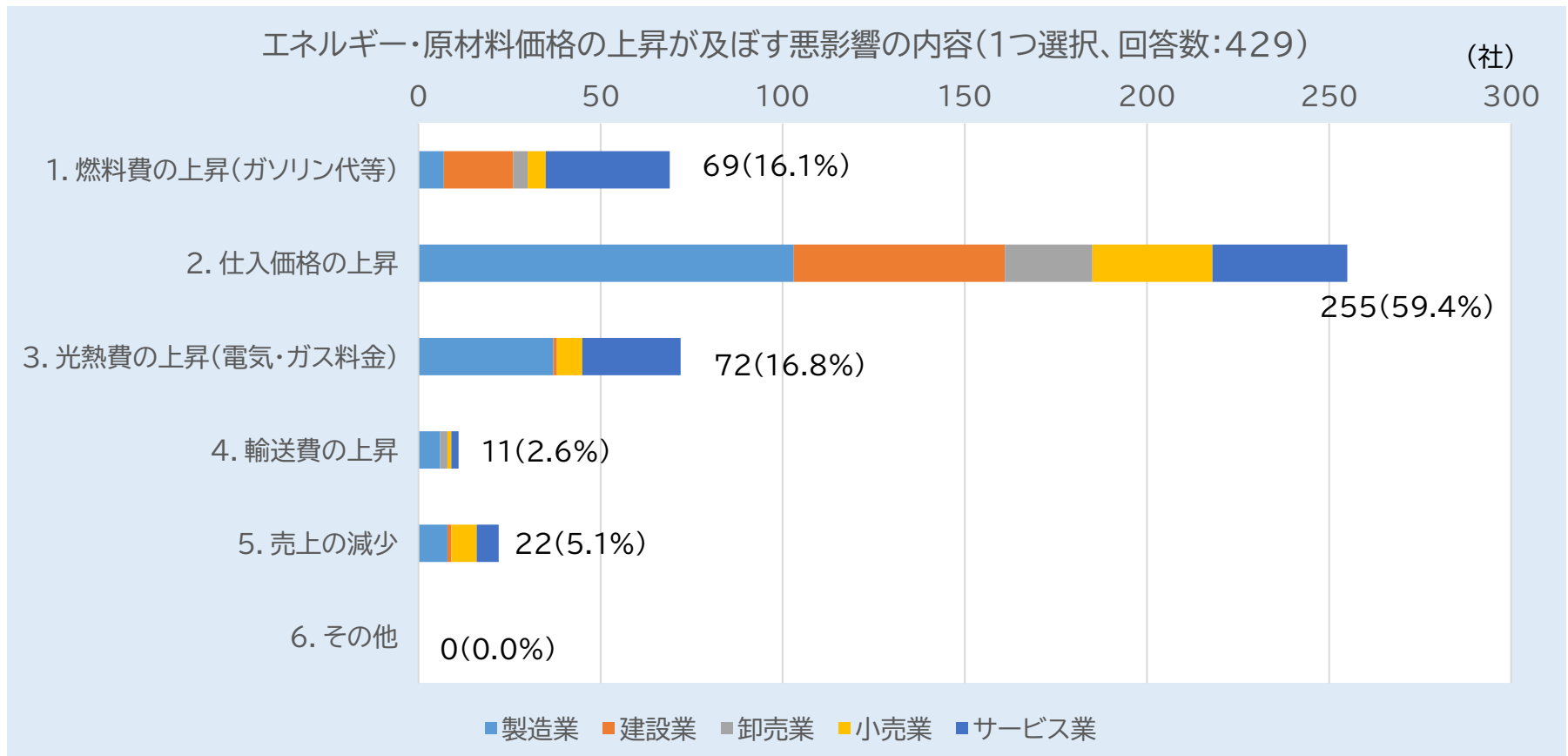
- エネルギー・原材料価格上昇の影響について業種別にみると、「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計は、サービス業を除く4業種で90%を超えた。
- 製造業、卸売業、小売業では、「悪影響がある」が50%を超えた。

エネルギー・原材料価格の上昇が及ぼす影響(業種別)



## エネルギー・原材料価格の上昇が及ぼす悪影響の内容(全体)

- エネルギー・原材料価格上昇が及ぼす悪影響の内容を尋ねたところ、「仕入価格の上昇」が最も多かった。
- 次いで「光熱費の上昇」、「燃料費の上昇」の順に多かった。



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

1. 調査概要

2. 全体

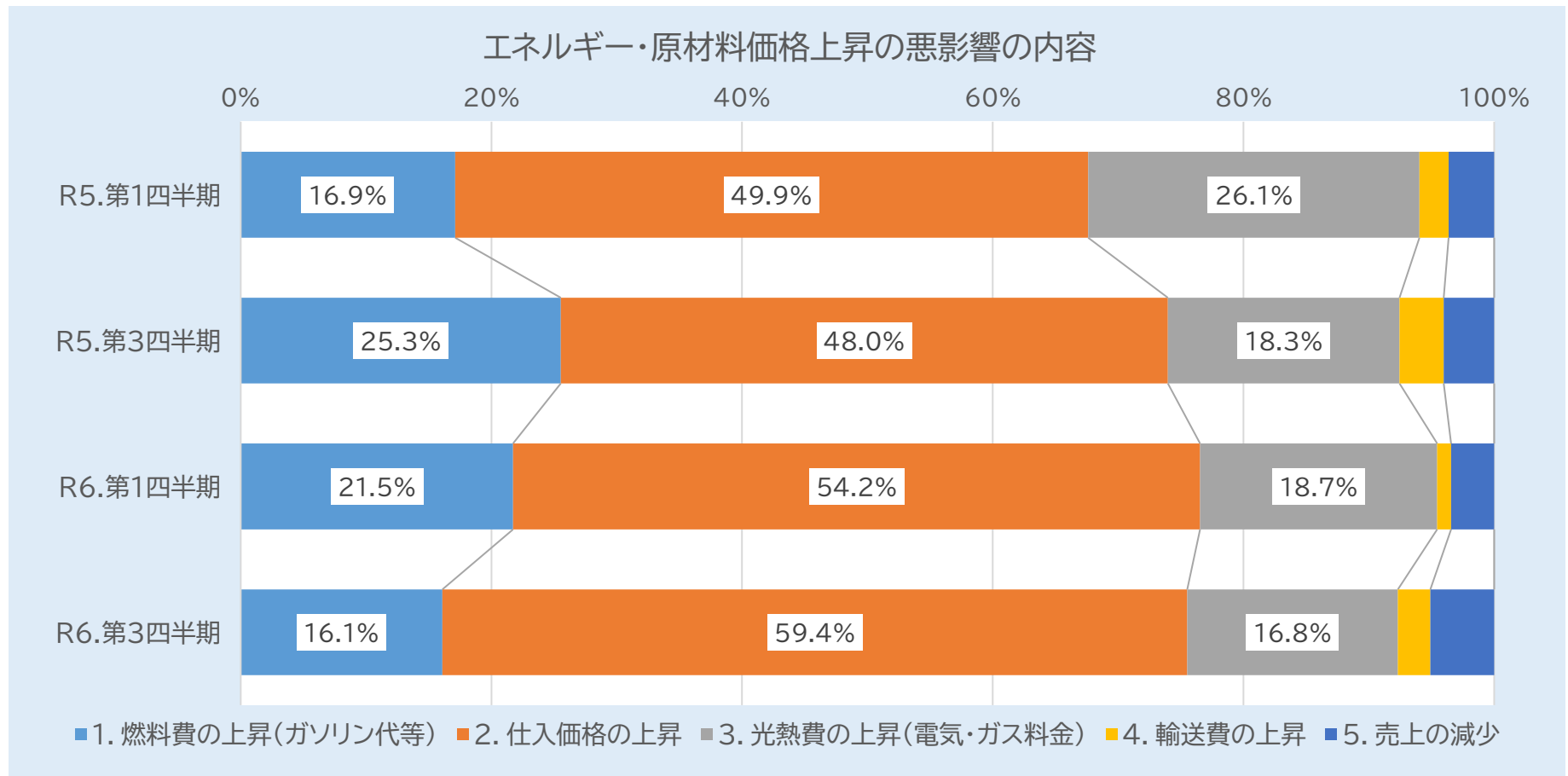
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## エネルギー・原材料価格の上昇が及ぼす悪影響の内容(令和5年度第1四半期からの比較)

- エネルギー・原材料価格上昇の悪影響の内容について、令和5年度第1四半期から令和6年第3四半期までを比較したところ、「仕入価格の上昇」の割合が増加し、「光熱費の上昇(電気・ガス料金)」の割合が減少した。

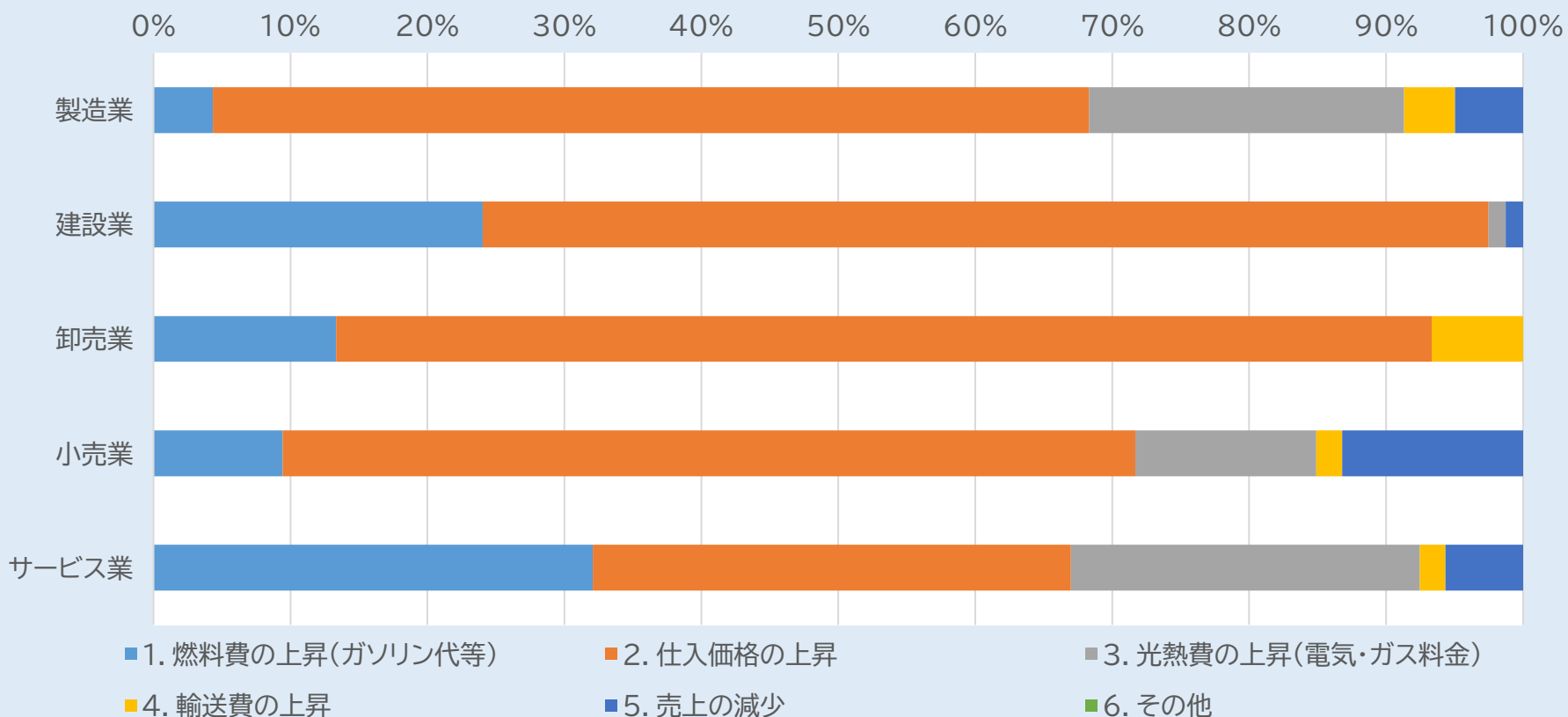


※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

## エネルギー・原材料価格の上昇が及ぼす悪影響の内容(業種別)

- エネルギー・原材料価格上昇の悪影響の内容について業種別にみると、全ての業種で「仕入価格の上昇」が最も多かった。
- 製造業、建設業、卸売業、小売業では6割以上の企業が「仕入価格の上昇」と回答した。

エネルギー・原材料価格の上昇が及ぼす悪影響の内容(業種別)



1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

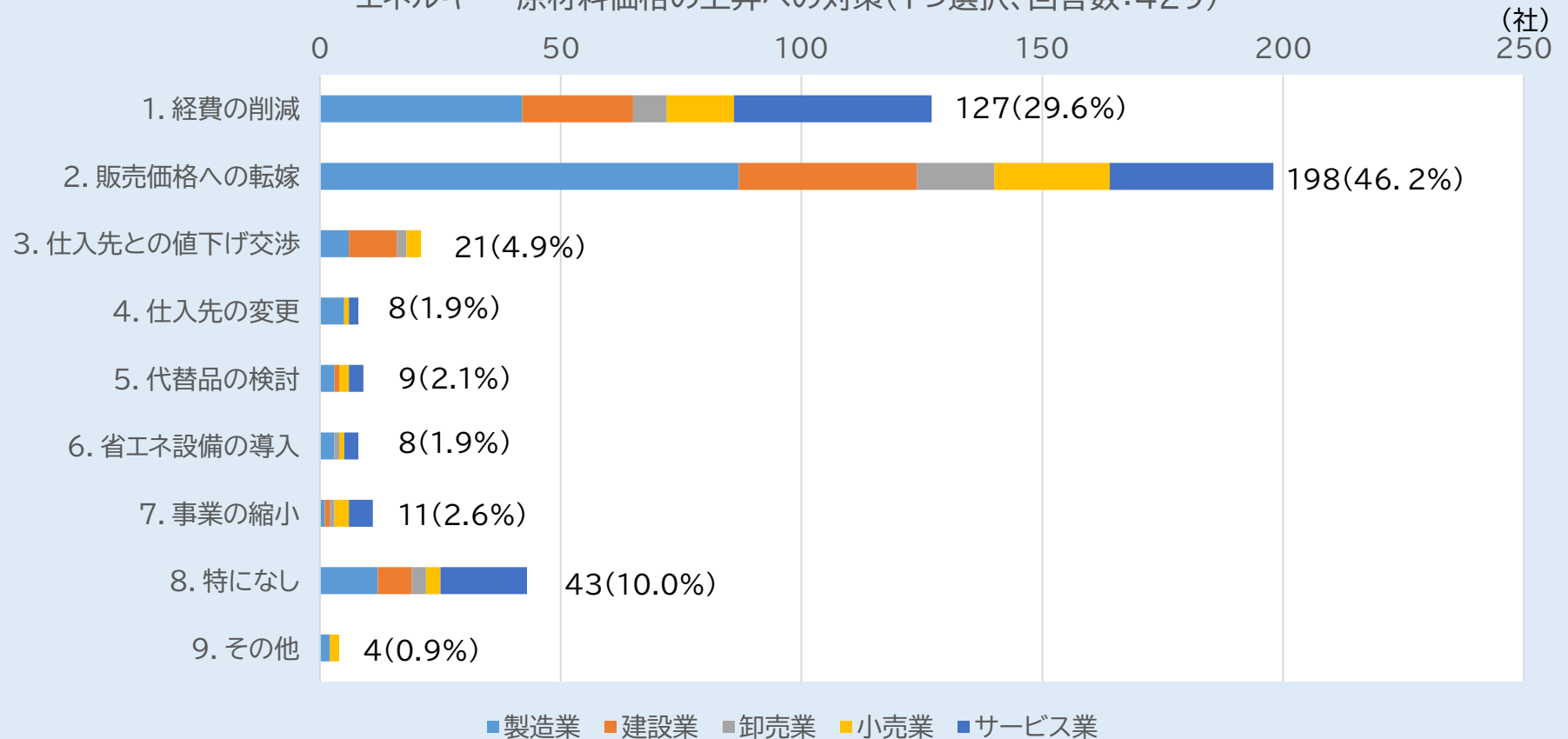
4. 業種別

5. 追加設問

## エネルギー・原材料価格の上昇への対策(全体)

- エネルギー・原材料価格上昇への対策を尋ねたところ、「販売価格への転嫁」が最も多かった。
- 次いで「経費の削減」、「特になし」の順に多かった。

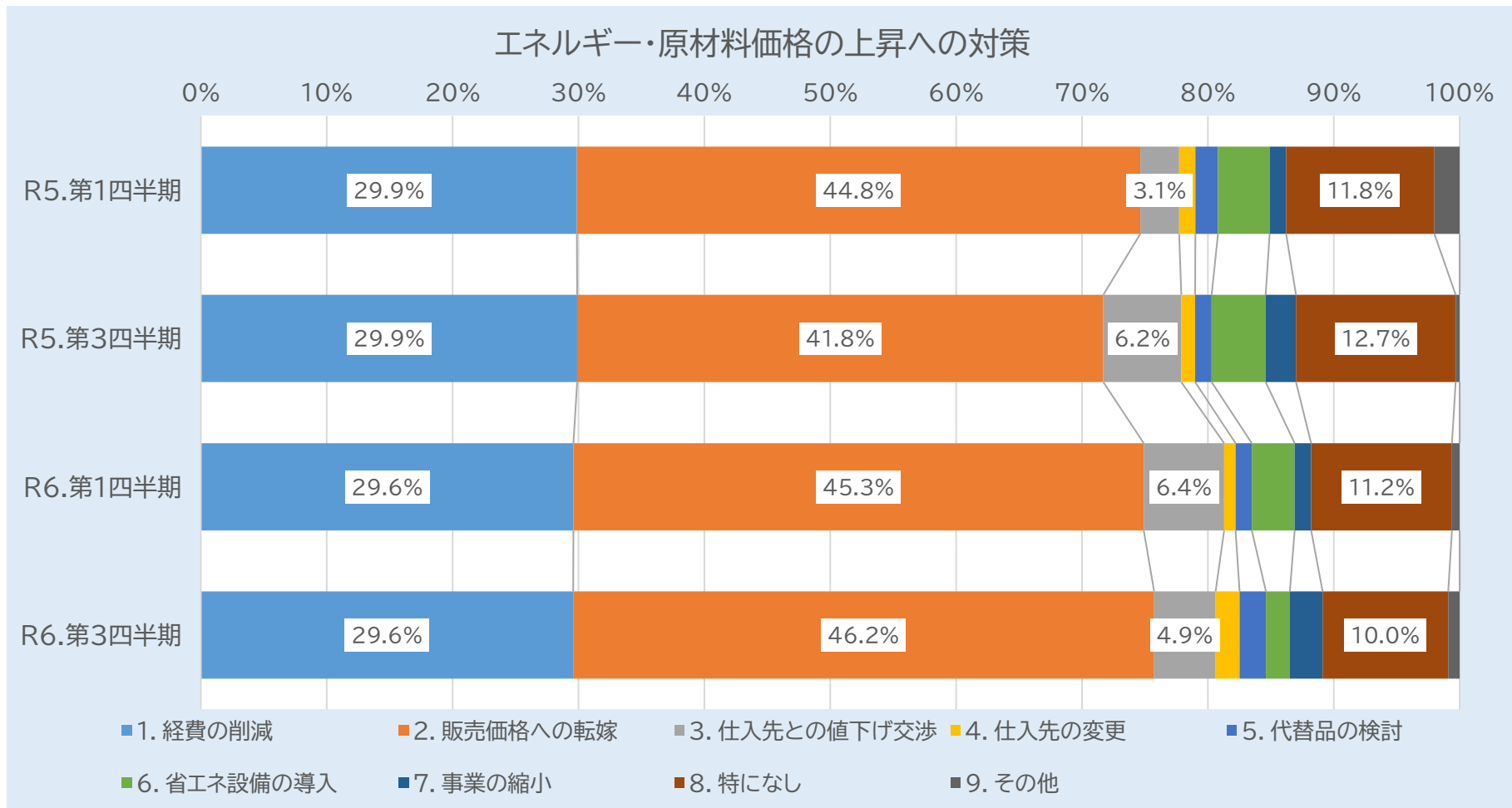
エネルギー・原材料価格の上昇への対策(1つ選択、回答数:429)



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

## エネルギー・原材料価格の上昇への対策(令和5年度第1四半期からの比較)

- エネルギー・原材料価格上昇への対策について、令和5年度第1四半期から令和6年度第3四半期までを比較したところ、「販売価格への転嫁」の割合がやや増加した。



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある



1. 調査概要

2. 全体

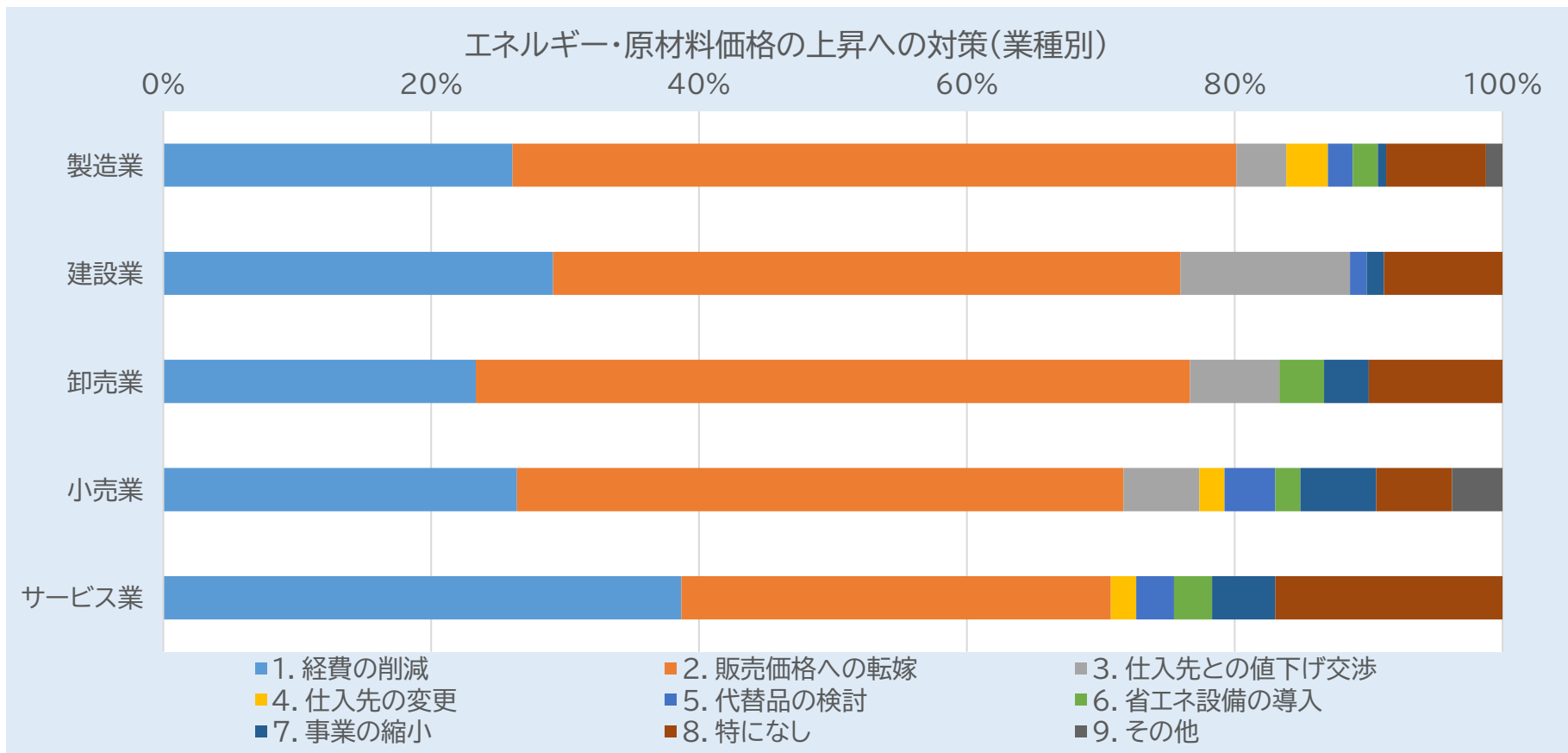
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## エネルギー・原材料価格の上昇への対策(業種別)

- エネルギー・原材料価格上昇への対策について業種別にみると、製造業、建設業、卸売業、小売業では「販売価格への転嫁」が最も多く、サービス業では、「経費の削減」が最も多かった。
- 卸売業、サービス業では、1割以上の企業が「特になし」と回答した。



1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 【追加設問2】

円安の影響について

1. 調査概要

2. 全体

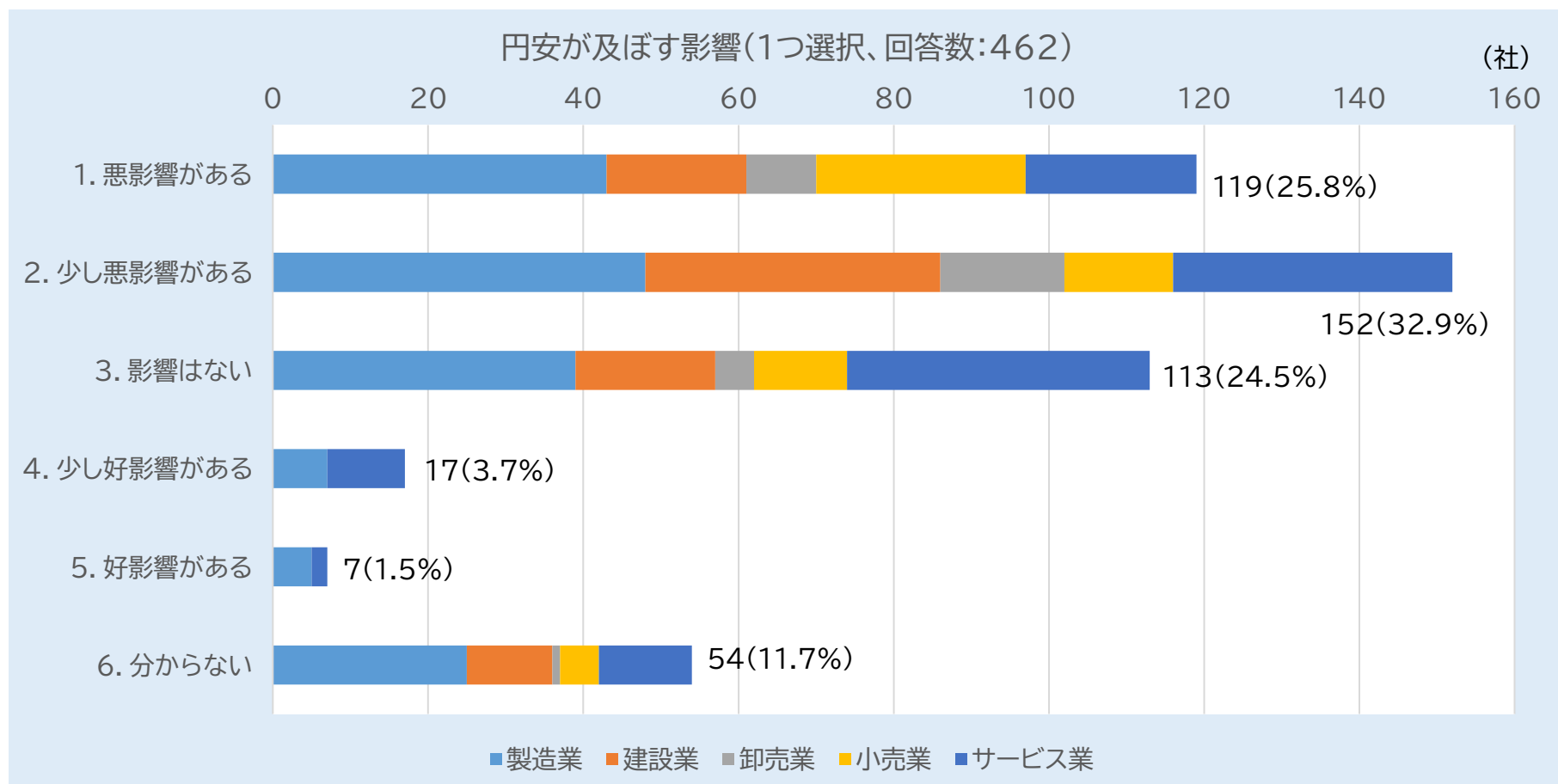
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 円安が及ぼす影響(全体)

- 円安が及ぼす影響を尋ねたところ、「少し悪影響がある」が最も多かった。
- 「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計は、全体の約59%に上った。



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

1. 調査概要

2. 全体

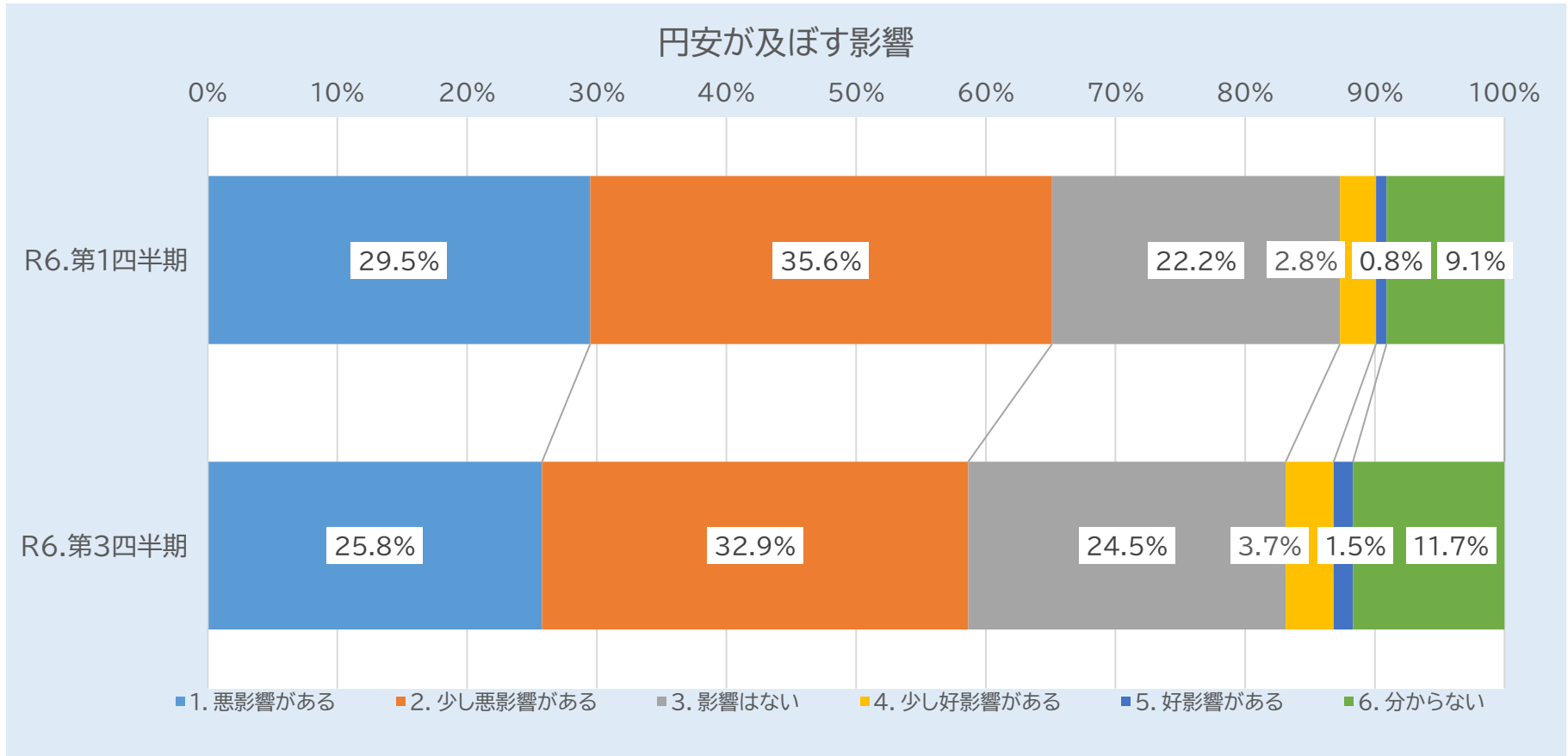
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 円安が及ぼす影響(令和6年度第1四半期との比較)

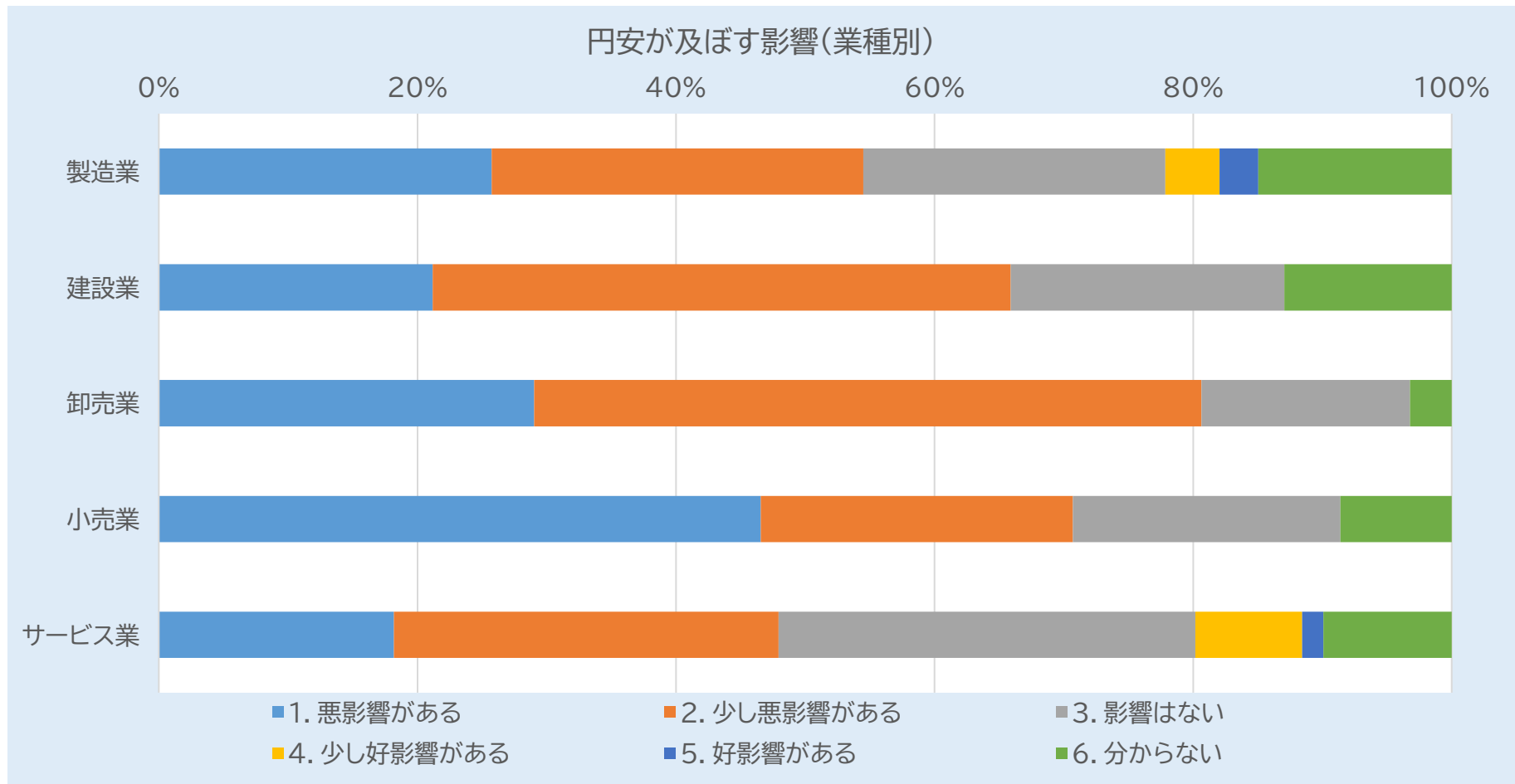
- 円安が及ぼす影響について、令和6年度第1四半期と令和6年度第3四半期を比較したところ、「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の割合が減少した。
- 「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計は、いずれも全体の50%以上を占めた。



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

## 円安が及ぼす影響(業種別)

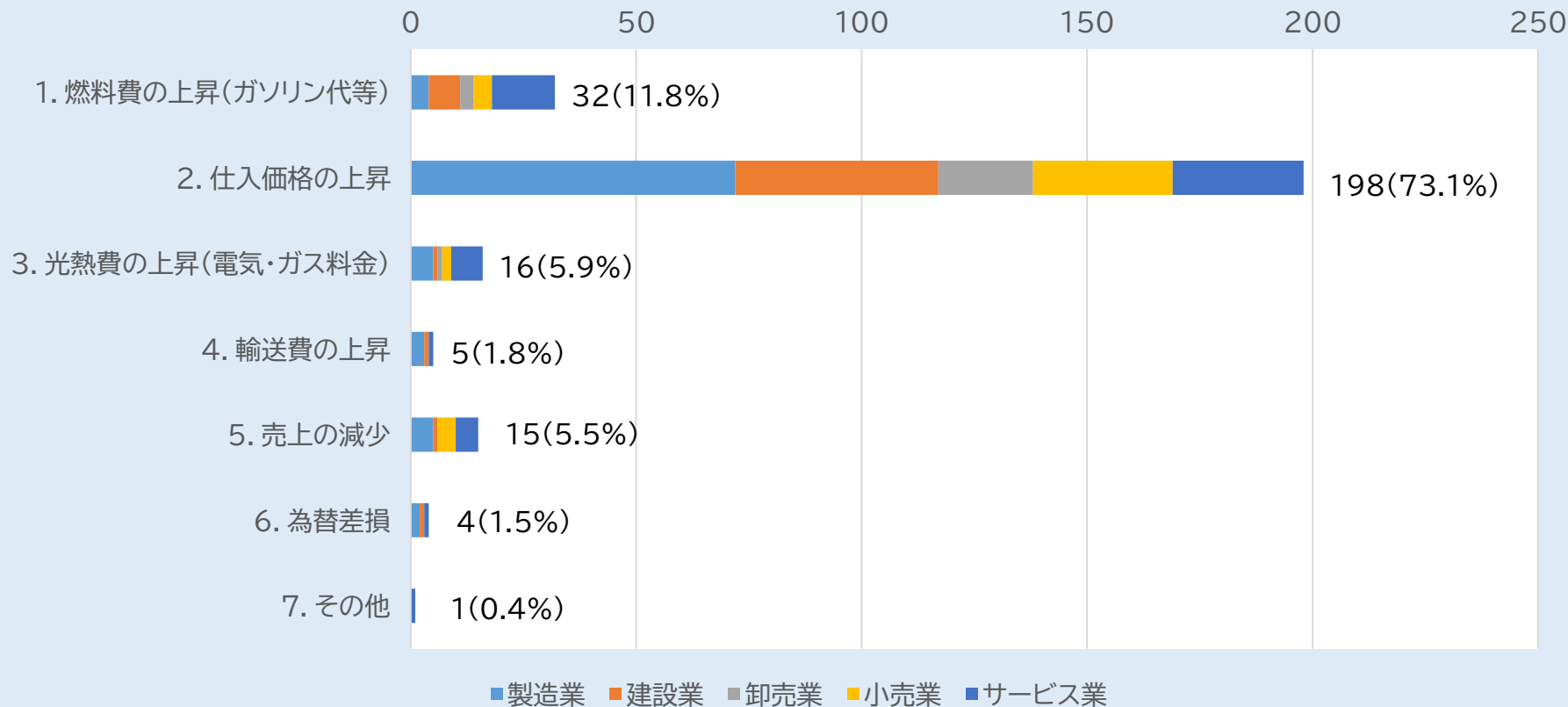
- 円安が及ぼす影響について業種別にみると、小売業では「悪影響がある」が最も多く、製造業、建設業、卸売業では「少し悪影響がある」が最も多く、サービス業では「影響はない」が最も多かった。



## 円安が及ぼす悪影響の内容(全体)

- 円安が及ぼす悪影響の内容を尋ねたところ、「仕入価格の上昇」が最も多かった。
- 次いで「燃料費の上昇(ガソリン代等)」、「光熱費の上昇(電気・ガス料金)」の順に多かった。

円安が及ぼす悪影響の内容(1つ選択、回答数:271)



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

1. 調査概要

2. 全体

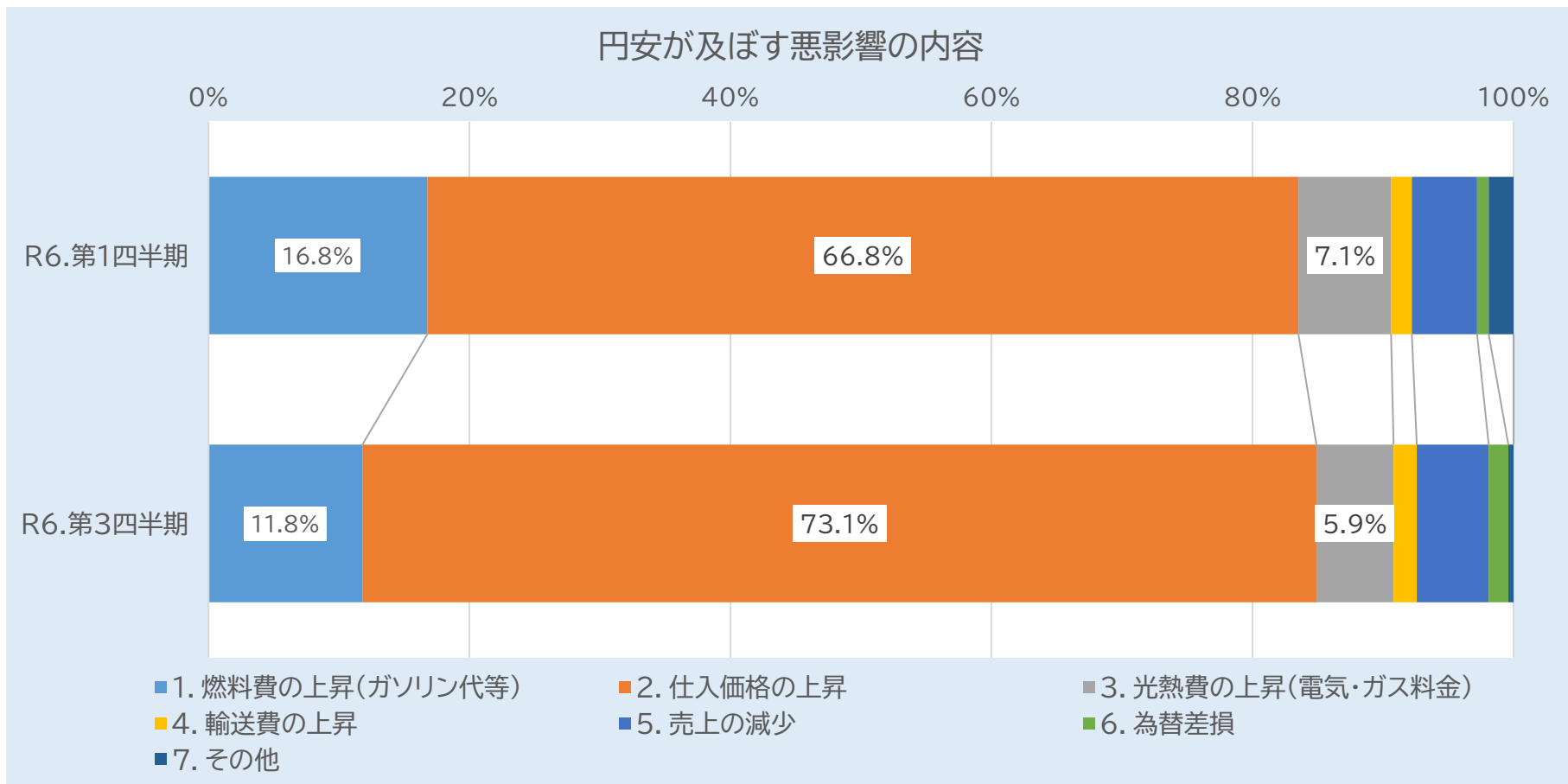
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 円安が及ぼす悪影響の内容(令和6年度第1四半期との比較)

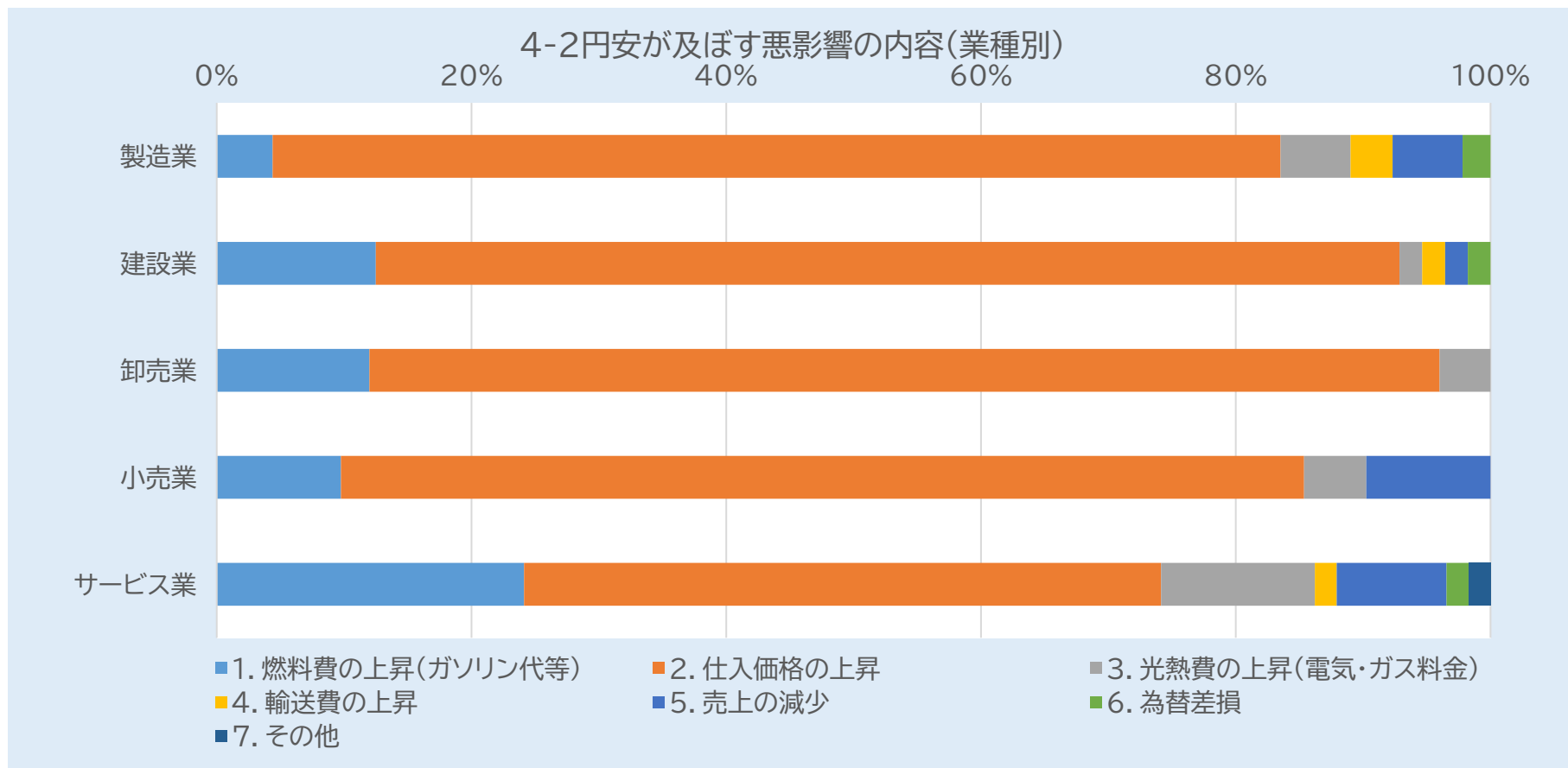
- 円安が及ぼす悪影響の内容について、令和6年度第1四半期と令和6年度第3四半期を比較したところ、「燃料費の上昇(ガソリン代等)」と「光熱費の上昇(電気・ガス料金)」の割合が減少し、「仕入価格の上昇」の割合が増加した。



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

## 円安が及ぼす悪影響の内容(業種別)

- 円安が及ぼす悪影響について業種別にみると、全ての業種で「仕入価格の上昇」が最も多かった。
- 建設業、卸売業では8割以上の企業が「仕入価格の上昇」と回答した。





1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

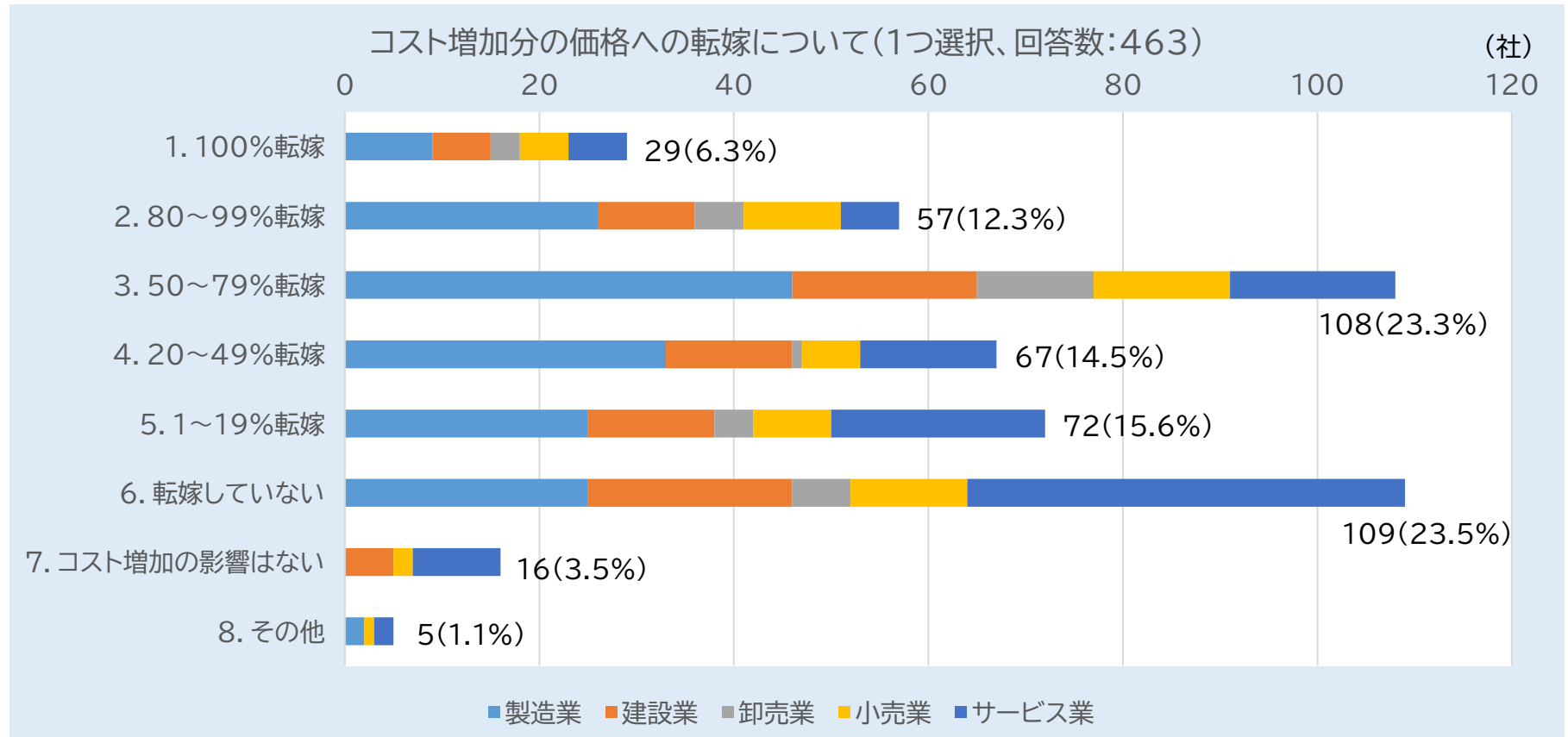
5. 追加設問

## 【追加設問3】

エネルギー・原材料価格等の上昇による  
販売価格への影響について

## エネルギー・原材料価格等上昇の販売価格への転嫁状況(全体)

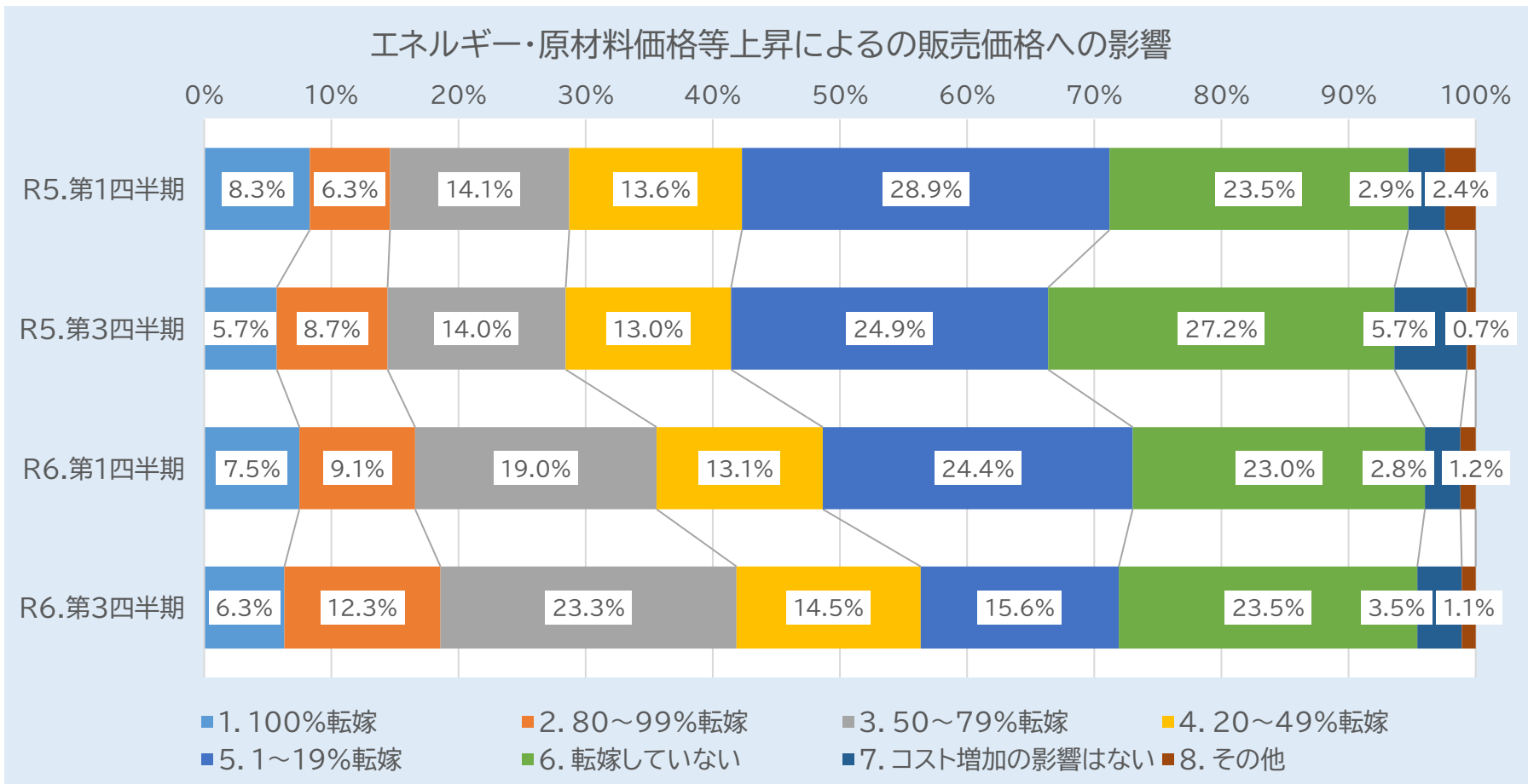
- エネルギー・原材料価格等上昇による販売価格への影響について尋ねたところ、「転嫁していない」が最も多かった。
- 次いで「50～79%転嫁」「1～19%転嫁」の順に多かった。



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

## エネルギー・原材料価格等上昇の销售价格への転嫁状況(令和5年度第1四半期からの比較)

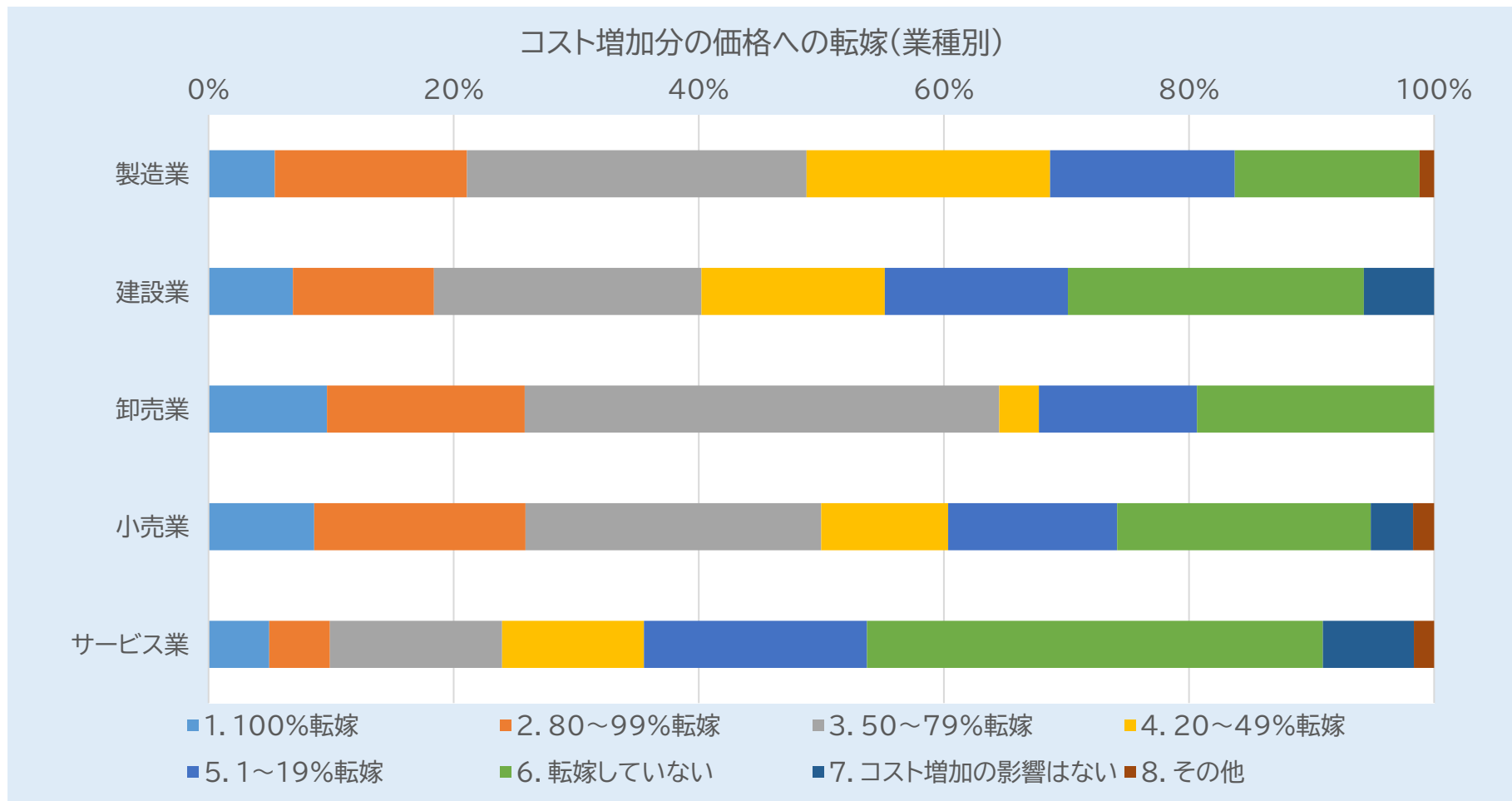
- エネルギー・原材料価格上昇による销售价格への影響について、令和5年度第1四半期から令和6年度第3四半期までを比較したところ、価格転嫁率50%以上の割合が増加した。  
 ※価格転嫁率50%以上…「100%転嫁」、「80~99%転嫁」、「50~79%転嫁」の合計



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

## エネルギー・原材料価格等上昇の销售价格への転嫁状況(業種別)

- エネルギー・原材料価格上昇による销售价格への影響について業種別にみると、製造業、卸売業、小売業は「50～79%転嫁」が最も多く、建設業、サービス業は「転嫁していない」が最も多かった。



1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

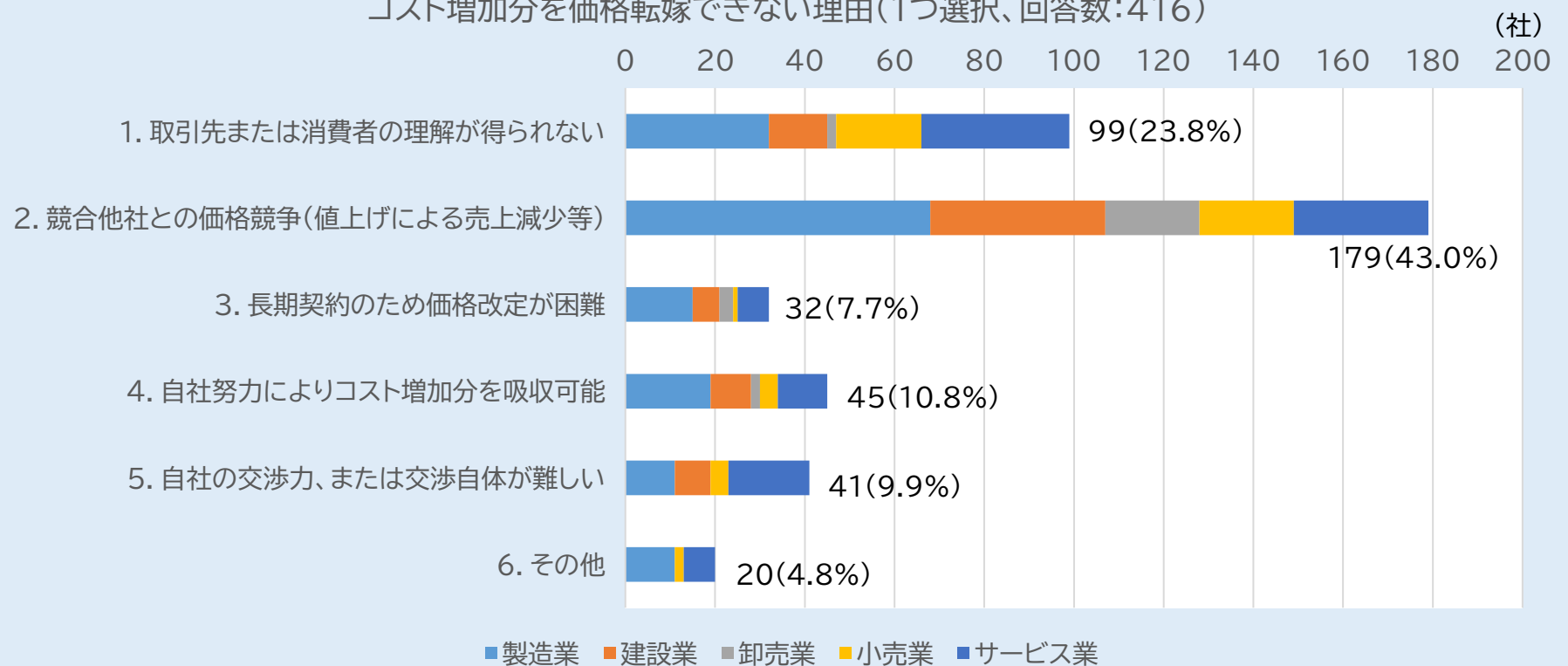
4. 業種別

5. 追加設問

## 販売価格への転嫁ができない理由(全体)

- 販売価格への転嫁ができない理由について尋ねたところ、「競合他社との価格競争(値上げによる売上減少等)」が最も多かった。
- 次いで「取引先または消費者の理解が得られない」、「自社努力によりコスト増加分を吸収可能」の順に多かった。

コスト増加分を価格転嫁できない理由(1つ選択、回答数:416)



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

1. 調査概要

2. 全体

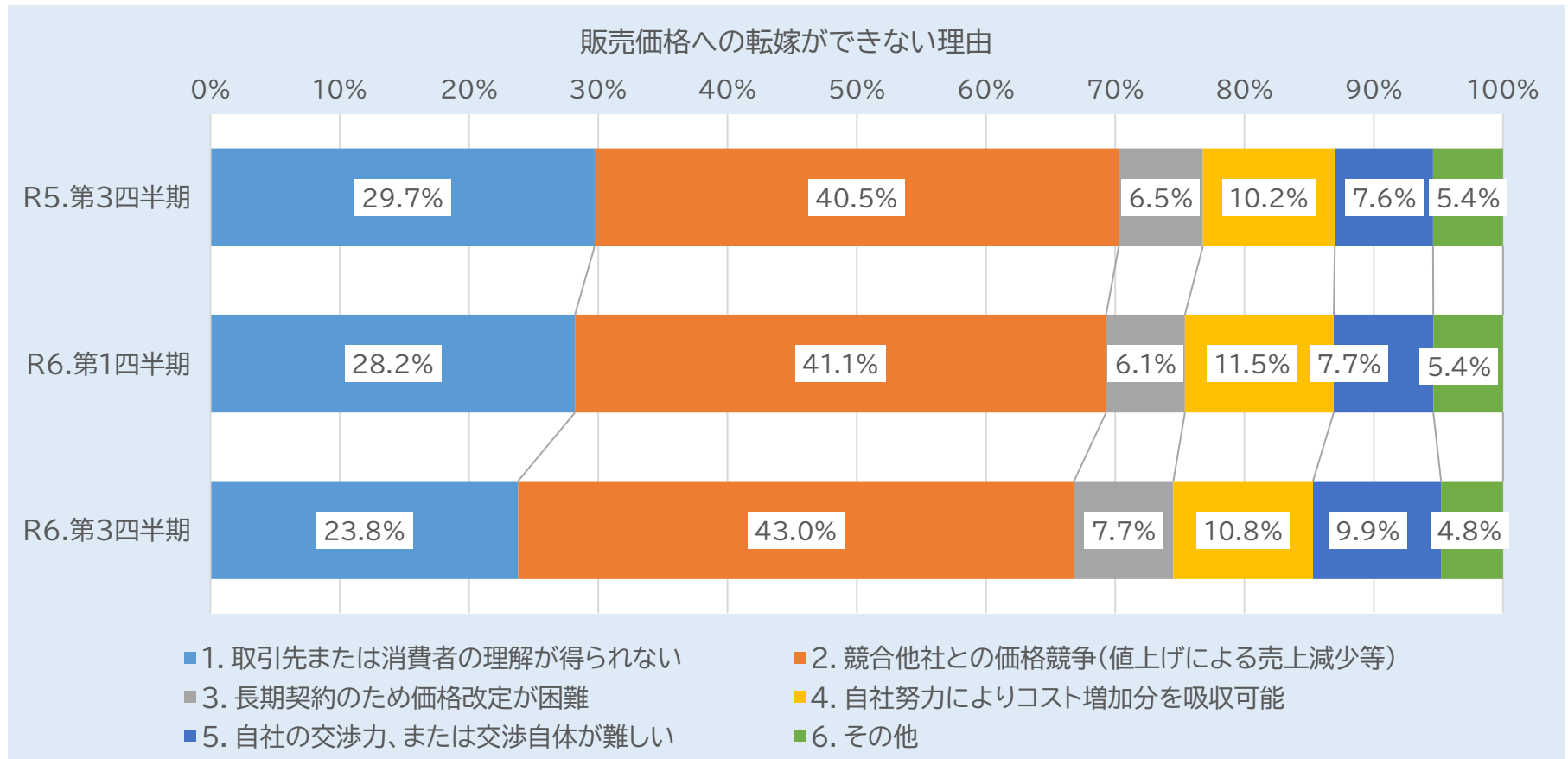
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 販売価格への転嫁ができない理由(令和5年度第3四半期からの比較)

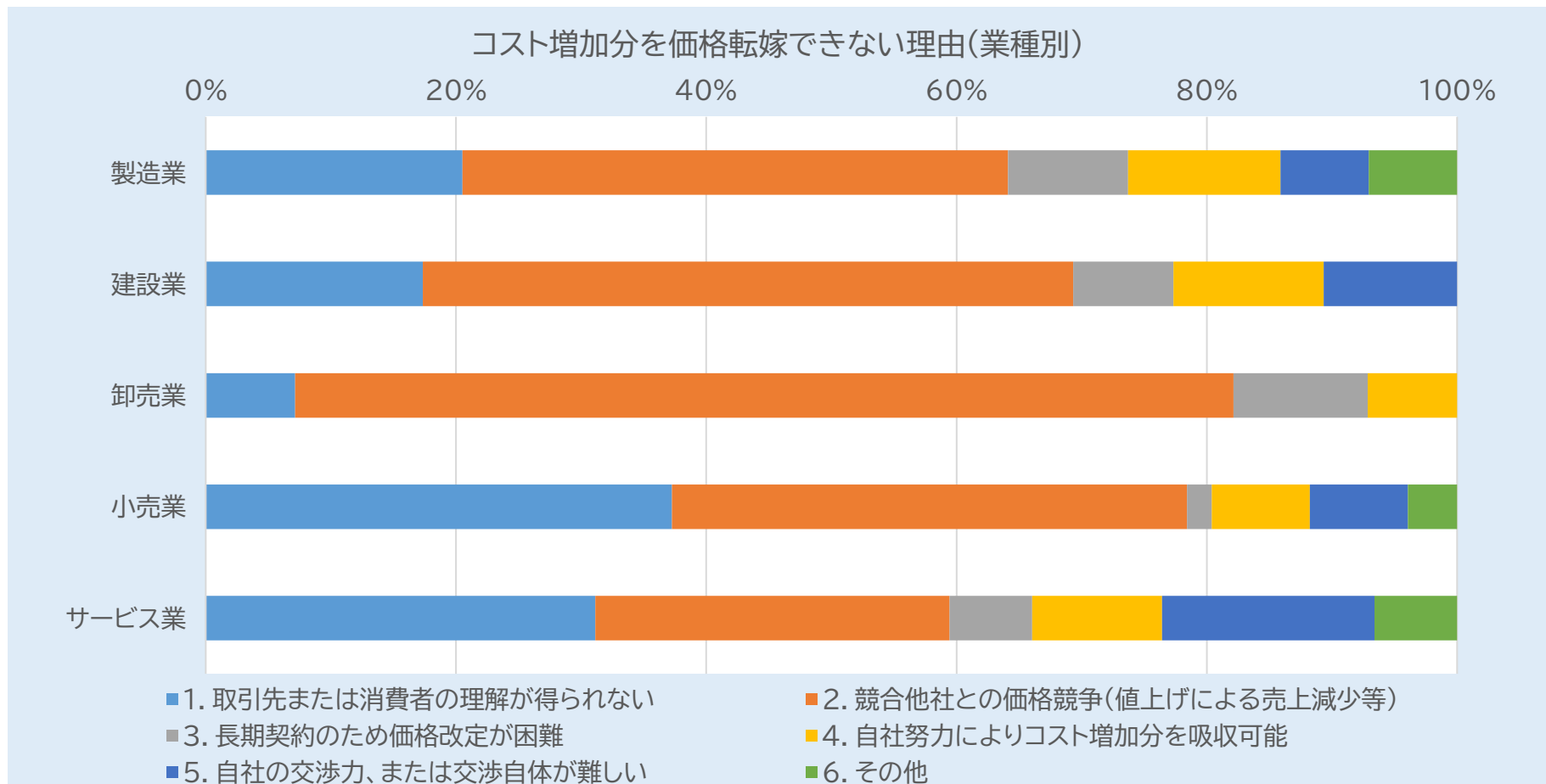
- 販売価格への転嫁ができない理由について、令和5年度第3四半期から令和6年度第3四半期までを比較したところ、「競合他社との価格競争」の割合が増加した。
- 一方、「取引先または消費者の理解が得られない」の割合は減少した。



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

## 販売価格への転嫁ができない理由(業種別)

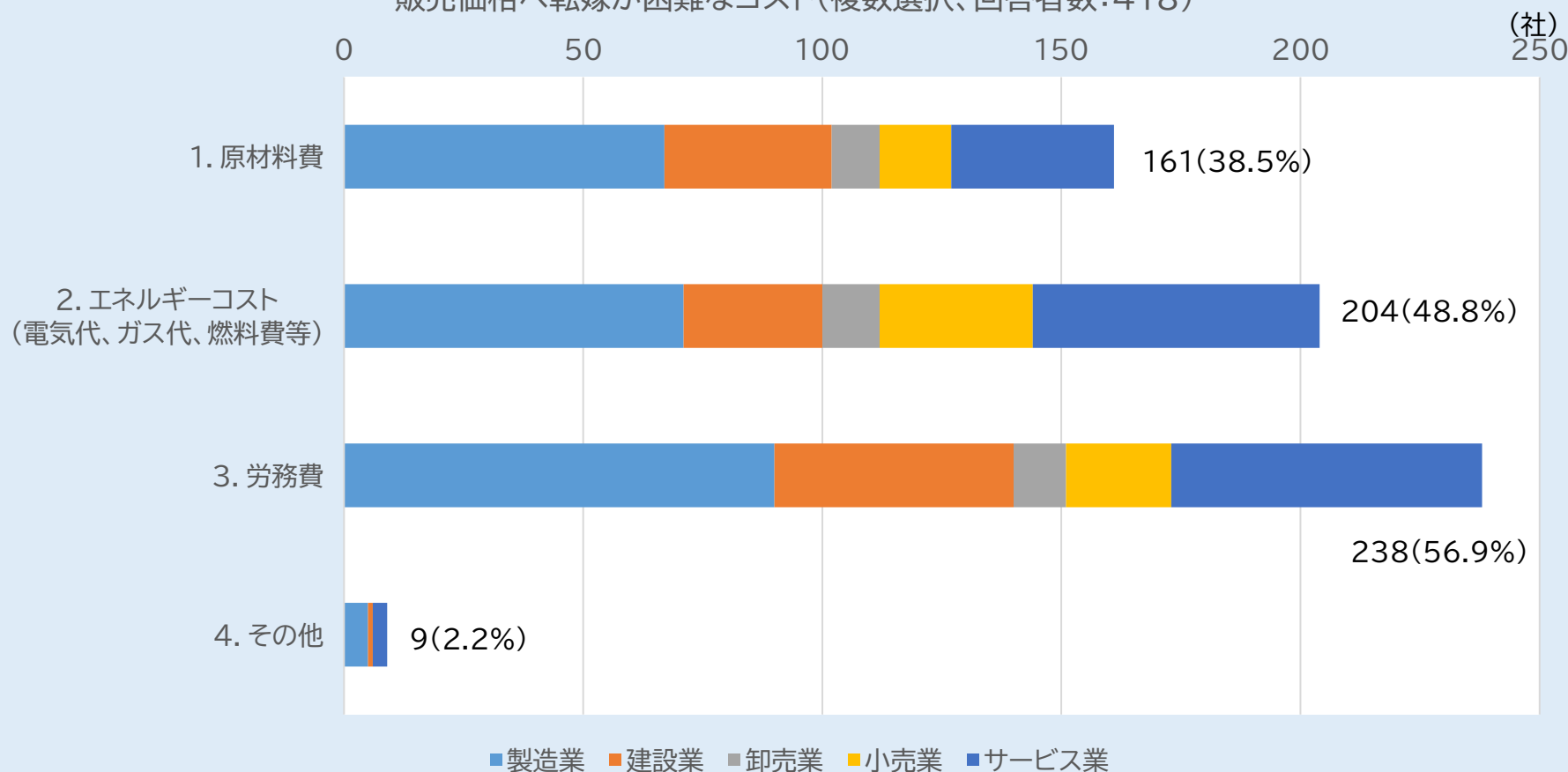
- 販売価格への転嫁ができない理由について、業種別にみると、製造業、建設業、卸売業、小売業では「競合他社との価格競争(値上げによる売上減少等)」が最も多く、サービス業では「取引先または消費者の理解が得られない」が最も多かった。



## 販売価格への転嫁が困難なコスト(全体)

- 販売価格への転嫁が困難なコストについて尋ねたところ、「労務費」が最も多かった。
- 次いで「エネルギーコスト(電気代、ガス代、燃料費等)」、「原材料費」の順に多かった。

販売価格へ転嫁が困難なコスト(複数選択、回答者数:418)



※各項目の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)



1. 調査概要

2. 全体

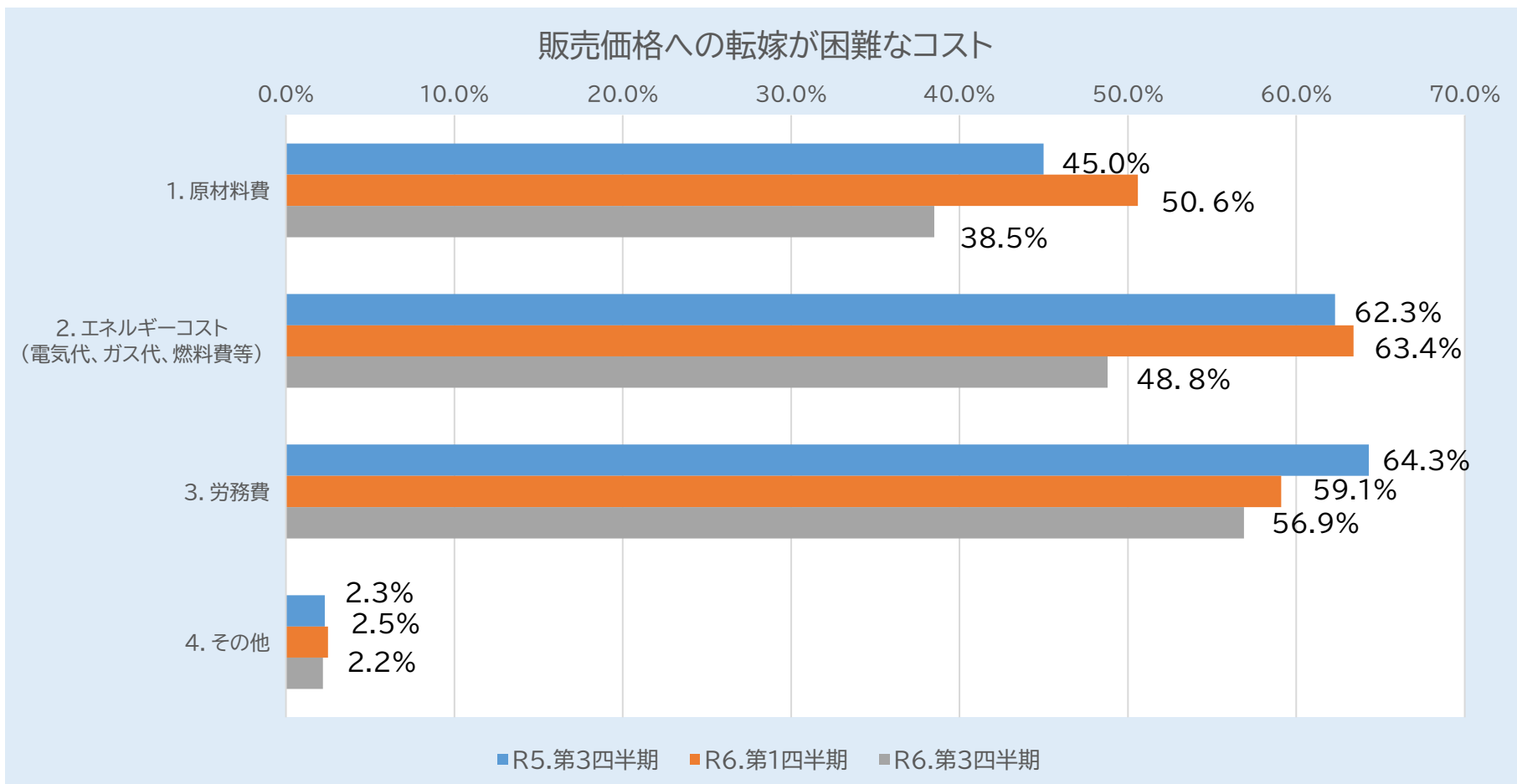
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 販売価格への転嫁が困難なコスト(令和5年度第3四半期からの比較)

- 販売価格への転嫁が困難なコストについて、令和5年度第3四半期から令和6年度第3四半期までを比較したところ、全ての項目で割合が減少した。



※各項目の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

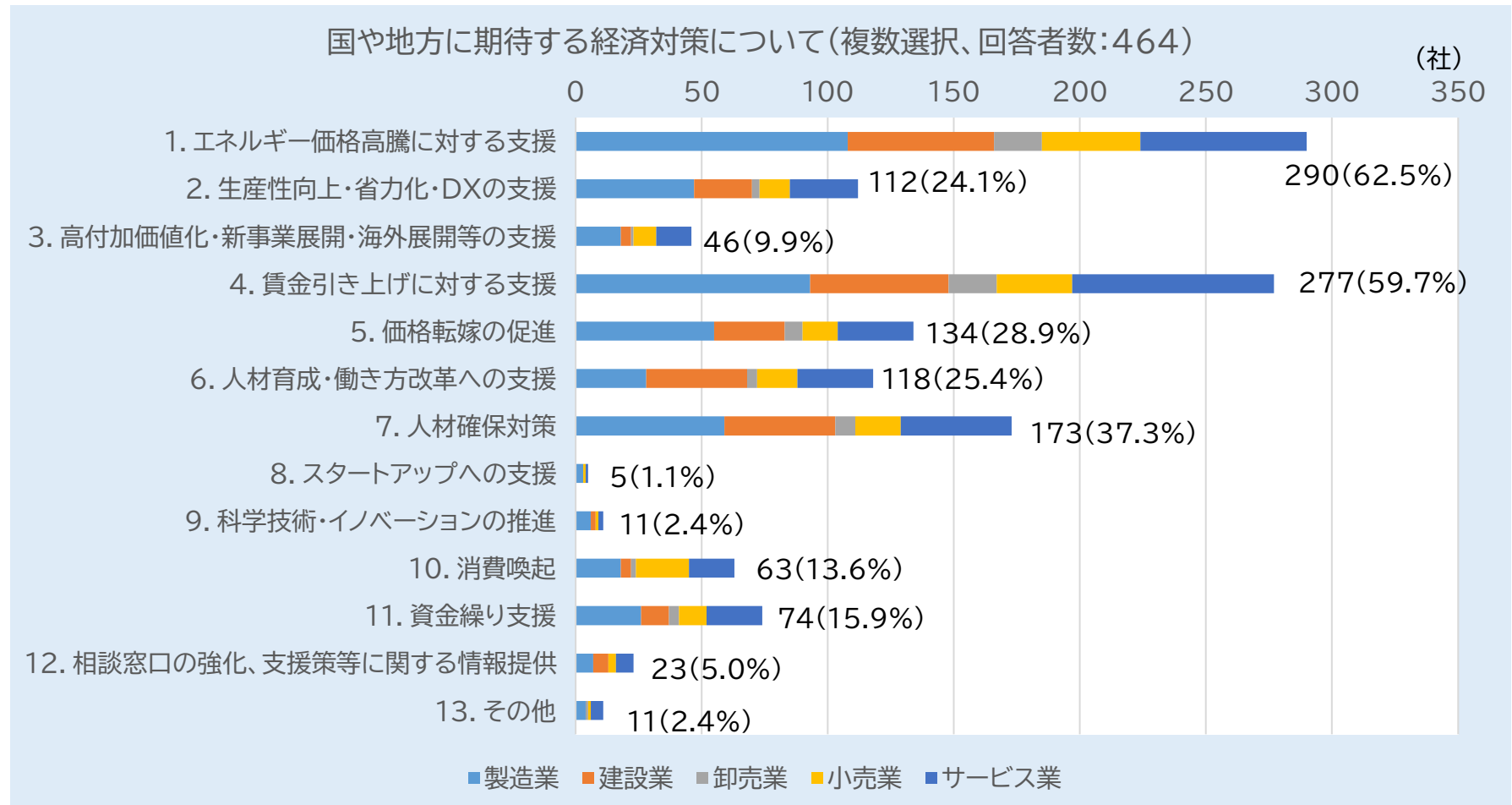
5. 追加設問

## 【追加設問4】

国や地方に期待する経済対策について

## 国や地方に期待する経済対策について(全体)

- 国や地方に期待する経済対策について尋ねたところ、「エネルギー価格高騰に対する支援」が最も多かった。



※各項目の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)